MIHRIJJA CHURCH OF THE SEVEN ARCHANGELS

Ancient Origin of Universal Theosophy

Universal Friendship and Love of Humanity

# MITHRAIC TRADITION

Study of Esoteric Legends, Myths, History & Philosophy

ミトラ教研究

# MITHRA'S HAFTÂN

THEIR PROFILE & PERSONALITY

## 天使七星学:七大天使のプロフィール

——その過去と性格——

MITHRAEUM JAPAN
THE CHALDEAN MAGI LEAGUE
ミトラ教天使七星教会
皇極天真古仏弥勒教曾
JAPAN

聖画　ミトラとアズラーイル

**MITHRAEUM JAPAN**
**ミトラ教天使七星教会**
**皇極天真古仏弥勒教曾**

〒154-8691 東京都世田谷郵便局 私書箱30号
ミトラ教天使七星教会 事務局

孔雀の紋章

Copyright by Masato TOJO, Ph. D., Magister
編訳註 東條真人, Ph. D. 慕闇

第一訂 2000年12月 16 日(土)
第二訂 2001年11月23日(金)
第三訂 2001年12月7日(金)
第四訂 2002年5月14日(火)
第五訂 2007年1月3日(火) 新装、聖画入れ替え
六訂 2008年5月9日(金) リンク変更
七訂 2008年5月10日(土) 聖画入れ替え・追加

本書の文書、図、絵などの著作権は著者に帰属しています。
これらのいかなる部分も書面による許可なく無断転載することを禁じます。

# MITHRA'S HAFTÂN:
# THEIR PROFILE & PERSONALITY

## 天使七星学:七大天使のプロフィール

――その過去と性格――

## ねらい

この資料は、七大天使に関する基本情報（性格、権能、伝承など）を提供することを目的としている。ただし、以下の事項にはふれない。

（1）七大天使の真名
（2）七大天使の名前の由来
（3）天使七星学の詳細にかかわること。

（1）については、『ケウルーミトラ聖典』とHP《七大天使の真名と称号》を参照していただきたい。（2）については、HP《七大天使の名前の由来》を参照していただきたい。（3）については、下記「七大天使関連資料」のうち、天使七星学に関係するものを参照していただきたい。

## 目次

第一部　基本事項
七大天使の誕生
七大天使の仕事
七大天使の呼び名
経典
七大天使の系列
七大天使とあなた
秘儀の特徴
用語集
第二部　七大天使のプロフィール
アザゼル
ジブリール
シェムナーイル
ダルダーイル
ミカエル

アズラーイル
イスラーフィール
第三部　七大天使に会う方法
六芒星と七芒星
六芒星の秘儀
七芒星の秘儀
ミトラや七大天使と一体となるときの感覚
祈りのことば
ミトラの友への七つの訓戒
守護天使の見つけ方

## 七大天使関連資料

### 正典

・東條真人『ケウルーミトラ聖典』MIIBOAT Books, 2006
・PDF. 正典『天地創造の詩』ミトラ教天使七星教会
・PDF.正典『真二宗経』（シャープラカーン）ビジュアル版、ミトラ教天使七星教会
・PDF.正典『真二宗経』（シャープラカーン）文字版、ミトラ教天使七星教会
・PDF.正典『ケファライア抄』ミトラ教天使七星教会
・PDF.正典『大力士経』（巨人の書）ミトラ教天使七星教会
・PDF.正典『約翰秘経』（ヨハネによる秘密の書）ミトラ教天使七星教会
・PDF. 正典『蘇魯支経』（ゾストリアノスの書）ミトラ教天使七星教会

### ミトラ教研究

・HP《七大天使の真名と称号》
・HP《七大天使の名前の由来》
・PDF『ミトラ教．パワーストーン特集』ミトラ教天使七星教会
・PDF『天使七星学．聖七文字』ミトラ教天使七星教会

### 天使七星学

・PDF『天使七星学．秘教占星学の哲学的な旅』ミトラ教天使七星教会
・PDF『通信講座Ⅲ天使七星学』教科書、ミトラ教天使七星教会
・HP《天使七星学．入門．基本的な道具立ての紹介》天使七星学の紹介
・HP《天使七星学．図解：七大天使とアラビックパーツ 》アラビック・パーツの図解
・HP《天使七星学．アラビックパーツの理論》西方ミトラ教の占星術の解説
・HP《天使七星学．星座の基礎理論とアラビック・サンチャート》アラビック・サンチャート
・HP《天使七星学．ミトラ教の七曜占い》
・HP《ミトラ神学３．東方ミトラ教入門》　第四部天使七星学
・HP《天使七星学．運勢の見方．何を占うか、なぜ占うか》　作成方法と解読方法の手引書

### ミレニアム講座タロットの教科書

#### 入門編

・PDF『３．カルデア神託法１』ミトラ教天使七星教会
・PDF『８．カルデア神託法２』ミトラ教天使七星教会

## 応用編

・PDF『ミトラの七大天使』ミトラ教天使七星教会
・PDF『大アルカナ外伝』ミトラ教天使七星教会

## 上級編

・PDF『ミトラの秘儀：ミトラの秘儀と生命の木』ミトラ教天使七星教会
・PDF『ミトラの秘儀：生命の木における小径と大アルカナ』ミトラ教天使七星教会
・PDF『ミトラの秘儀：生命の木を応用したスプレッド』ミトラ教天使七星教会
・PDF『ミトラの秘儀：七大天使の召喚』ミトラ教天使七星教会

# 第一部　基本事項

## 七大天使の誕生

天地創造にさきだって、ミトラにまきついていた黄金色のヘビが七名の天使に分かれた。これらの天使たちをミトラの七大天使（ハフターン）という。ハフターン Haftân はクルド語で、英語ではザ・セブン The Seven という。どの天使にもミトラの化身だという伝説がある。そこで、神ミトラ（イェズデンミール）には七つの身体があるともいわれている。

七大天使たちは、生まれたときは美しく無垢な火の鳥であったが、それ以後いろいろなことがあって、複雑な過去をもっている。天使たちの過去を読むと、かつて、天使たちが二派にわかれて戦ったという悲しい歴史も見えてくる。

## 七大天使の仕事

七名の大天使たちは、守護天使、副守護天使、星宿の天使（恋愛の天使）、堕天使＊といったかたちで人間と深くかかわり、人間を守り、成長を導いている。

＊堕天使　Fallen Angel。正確には、七大天使の分霊のうち、いまだ改心していない者たちのこと。七大天使の影、暗い分霊、影のような分霊などともいう。

## 七大天使の呼び名

クルド語で「七者」を意味する言葉ハフターンを起源とするが、この他に以下のような呼称がある。

・ハフターン　Haftân　クルド語（メディア語）。
・ザ・セブン　The Seven　ハフターンを直訳した英語表現
・七大天使　ななだいてんし。Seven Archangels（セブン・アークエンジェルズ）
・神の玉座の前の七大霊　Seven Great Spirits before the Throne of God
・原初の七者　げんしょのななしゃ　The Primordial Seven
・北斗七仏　ほくとしちぶつ　Seven Buddhas of the Dipper
・七禅定仏　しちぜんじょうぶつ　Seven Dhyani Buddhas
・七光線　Seven Rays

## 経典

ミトラの七大天使は、以下の教典に登場する。

（1）太古のミトラ讃歌〔ミフル・ヤシュト〕　前二〇〇〇年以前　作者不詳

| | | |
|---|---|---|
| （2）真二宗経〔シャープラカーン〕 | 後三世紀 | 大マニ |
| （3）黒の書〔マスハフ・リシュ〕 | 後一二世紀 | 高等司祭アディー |
| （4）創造の書〔ウムマル・キターブ〕 | 一〇世紀 | アブー・イーサー |
| （5）宿曜経（すくようきょう） | 後八世紀 | 不空 |

（1）は遅くとも西暦紀元前二〇〇〇年には成立していた教典で、超古代名が記されている。（2）は大マニが記した教典で、超古代名とグノーシス名の対応関係が記されている。（3）は高等司祭アディーが記した教典で、現在使われている七大天使のアラビア語風の名前が記されている。（4）は『シークレット・ドクトリンを読む』補遺Ⅰに「5アザゼル神話――七大天使の誕生」として収録されている。聖七文字＊と七大天使の関係が記されている。（5）にはミトラ教の七曜、ミトラ（日曜）、アナーヒター（金曜）、アフラ=マズダー（木曜）、バフラーム（火曜）と北斗七仏などが記されている。

**＊聖七文字**　KWNYQDR。詳しくは『シークレット・ドクトリンを読む』、および、ミトレーアム HP の「聖七文字の起源」を参照のこと。

## 七大天使の系列

七大天使は、闇、光、両者の中間に位置する薄明の三つの系列に分かれている。この分類はミトラ教の伝承にもとづいている。

### 闇系列の三大天使

第一天使アザゼル、第三天使シェムナーイル、第六天使アズラーイルの三天使。彼らはかつて天界で反乱を起こしたが、現在は七大天使に復帰している。地上にはかつて彼らがまきちらした怨念に染まった無数の影のような分霊たち＊が残っている。これらの暗い霊たちは、地上をうろつきまわって人間に悪さをしている。そこで、ミトラは闇系列の大天使たちに、これらをつかまえて本体に吸収するように秘密使命をさずけたと言い伝えられている。

闇系列の大天使たちは、人間の心の深い闇の中に入っていくことができる。そのため、不完全で弱い存在である人間にとって、彼らは親しみを感じる存在だ。

**＊影のような分霊たち**　堕天使、暗い分霊、影の天使などともいう。闇系列の天使たちの分霊だけでなく、光系列と薄明系列の大天使の分霊の中にも、怨念にそまった者たちがいる。

### 光系列の三天使

第二天使ジブリール、第五天使ミカエル、第七天使イスラーフィールの三天使。彼らは闇系列の天使たちが反乱を起こしたとき、甲冑に身をかためて槍をもった神の盾ミカエルが彼らを天界から追い出した。

光系列の大天使たちは、人間を明るくきよらかで前向きにする。多くの人は、彼らの光に包まれると安心し、安らぐ。しかし、内面的な準備ができていない者やトラウマ（心の傷）を持つ者は、彼らの放つ光をあまりにきよからでまぶしいと感じ、避けてしまう傾向がある。

### 薄明系列の天使

この系列に属す天使はダルダーイルただ一人しかいない。ダルダーイルは、あなたを他の六大天使にひきあわせてくれる紹介者という一面がある。ダルダーイルの導きで、あなたはまぶしく輝く光系列の天使たちの友だちにもなれるし、とっつきの悪い闇系列の天使たちを力強い友だち

にすることもできる。ダルダーイルは、人間が自己探求をするときのよき理解者・同伴者でもある。ダルダーイルの助けで、あなたは光の広間に昇って行くこともできるし、冥府に降りていくこともできる。

## ミトラ教固有の概念

ミトラ教の七大天使を理解するには、ミトラ教・シーア派に共通する独特な神智学専門用語を理解する必要がある。とりわけ重要なのは、水と酒の比喩、聖七文字（クーニーカダル）、ジャッド、ファトフ、ハヤール、アッサービクである。

## 七大天使とあなた

七大天使の全員があなたと友達になりたいと願っている。あなたが彼らのことをよく知って、守護天使として受け入れれば、すぐさま、あなたの最良の友達になってくれる。天使と会うための具体的な方法は、この資料の後ろ「七大天使に会う」で説明する。

## 秘儀の特徴

大天使と合一する時には、自分が清らかな水を入れたグラスになり、そこ中に神という甘美な美酒が流れこんでくるような感覚を体験する。これを「汝と我、酒と水がひとつになるがごとく、溶け合っていく」という。これは《ミトラの秘儀》とそこから派生した陶酔型スーフィズムに共通する特徴である。この比喩の意味については、「七大天使に会う」の中でさらにくわしく解説する。

## 用語集

**＊高揚星**　こうようせい。Exalted planet。天使が放つ光線の作用を強め、より効果的にする惑星のこと。高揚星の名前は、そのまま七曜日の名称になっている。曜日配列にかんする基礎理論については『シークレット・ドクトリンを読む』の【訳者解説】の「惑星連鎖」p118-121 を参照のこと。

**＊支配星**　Ruler。各天使が放出した分霊は惑星神となって、惑星を支配している。たとえば、第一天使アザゼルは、二つの分霊を放出し、一方は冥王星を、もう一方は高炉星を支配している。このように各天使が分霊（惑星神）をとおして支配している惑星を支配星という。支配星についての詳しい解説は、『詳解　ミトラ教の秘教占星学』の第Ⅴ章惑星を参照のこと。

**＊高炉星**　こうろせい。Vulcan。ギリシア語。ヴァルカン星のこと。水星の内側を公転しているとされる惑星で、太陽にもっとも近い位置にいて、太陽からの最大離隔は 10 度と想定されている。したがって、いつも太陽とコンジャンクションの位置にいる。ドイツ語ではウルカヌス、ローマ神話ではヘーパイストス、ペルシア神話ではアータル、インド神話ではアグニという。ヘーパイストスもヴァルカンも鍛冶神で高炉と関係するので、意味をとって、高炉星と訳されている。高炉星が実際には確認されていないという事実は、アザゼル（アーリマン）の本性がまだ完全に

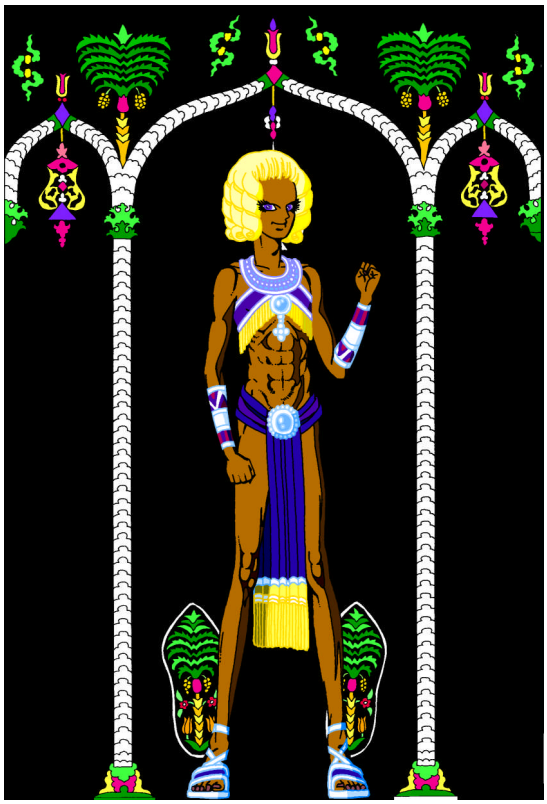
は明かされていないことを暗示している。

**＊日本的なイメージ**　七大天使それぞれに対応する日本の神仏のこと。菩薩については教典『時輪タントラ』をもとにしているが、その他は、ミトレーアム・ジャパンの通信講座やミレニアム講座におけるミトラの友たちの考え・イメージを集計したものであり、とくに定まっているわけではない。

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَٰنِ الرَّحِيمِ

# 第二部　七大天使のプロフィール

## アザゼル　‘Azazel



聖画　アザゼル

### 性格

全天使の中でもっとも美しい。強い独立心と主体性と指導力があるが、挑戦的で反抗的なところがある。アザゼルは、人間の本音をするどく見抜くので、ウソをついたり、たてまえにこだわったりすると軽蔑する。防御より攻撃が得意。怒るとあらゆるものを破壊する。七大天使の中で最大の破壊力をもつ。荒ぶる神であり、憑依合体には危険がともなう。安易な気持ちで願掛け・召喚（憑依合体）するとバチがあたる。ライオンの仮面をかぶっているので、ライオン神と呼ばれることもある。中国の弥勒教の教祖たちの中には、アザゼルが降りた者もいる。彼らは、怒った神の化身ということで自らを明王転世〔みょうおうてんぜ〕と称した。

アザゼルは、ジャッドを授ける。ジャッドは、アラビア語で“幸運・吉兆”を意味する。ジャッドを授けられた者は、預言者・使徒となって律法を宣言する能力を持つようになる。

**＊ジャッド**　Jadd。アラビア語。スーパーシーア派の神智学用語。

### 伝承

ミトラ神話＊には、世界卵が割れたとき飛び出してさまよった火の鳥として登場する。かつて

アーリマンと呼ばれた時、天上で反乱を起こしたが、冥府でミトラと決闘をしてやぶれ、今はミトラの第一の天使（友）となってみごとに復活し、アザゼルと名乗っている。アザゼルは、ミトラの友道にそむく者の運命を自由にする権限を持っている。『正典　巨人の書』（別名大力士経）や旧約聖書の『創世記』6 によれば、ある時、人間の住む町にシェムナーイルに率いられて、見張りと呼ばれる二百名の天使がやってきた。彼らは人間たちに都市の建設、剣、短剣、盾、胸当て、腕輪、アクセサリー、染料のつくり方、化粧することなどを教えた。見張りたちと人間の娘たちが交わると、巨人族（ネフィリム）が生まれた。巨人族が人間を食べ始めたので、ミトラは巨人族を滅ぼした。ミカエルたちがシェムナーイルの断罪を要求する中、アザゼルとアズラーイルはシェムナーイルを擁護した。その結果、アザゼルがシェムナーイルの身柄を預かることになった。このときから、シェムナーイルはアザゼルの懐刀になった。

**＊ミトラ神話**　『シークレット・ドクトリンを読む』補遺Ⅰ「１ミトラ神話Ⅰ」と「２ミトラ神話Ⅱ」参照。

### 役割
・人間に自由意志を付与する。自由意志が暴走しないように法を定める。
・ものごとの基軸・根幹を定める。各周期の課題・方向性を示す。
・宗教統合という大計画を進める。第二光線の活動をバックアップする。
・神の意志（大計画）を理解させようとする。
・神の意志に逆らう者を支配し、その運命を自由自在にあやつる。

### キーワード
・天命を信じる。
・わたしが正しい。
・わたしの行く手をはばむものを、わたしはすべて破壊する。
・よしやるぞ。
・やるしかない。
・わたしの決意は固く、もはや誰もわたしを止めることはできない。
・わたしは孤独を恐れない。
・わたしは死を恐れない。
・わたしは目的達成のために他のすべてを犠牲にする覚悟ができている。
・新しいものを生み出すために、わたしは古いものを破壊する。

### 勧請
・抵抗に打ち勝って自由意志を行使しようとするとき。
・何がなんでも目的を達成しようというとき。
・内にこもっていたエネルギーを外に向かって爆発させたいとき。
・外部からの影響力のすべてを無化し、自分本来の意志を顕わにしたいとき。
・過去のしがらみのすべてを捨てて、仕切り直しをしたいとき。

### 結果
・恐れがなくなる。
・小細工をせず、真っ向勝負しようという気分になる。斜めに構えた態度が消える。
・一大決心をする。
・ここ一番の大勝負に出る。
・古いものが一掃され、新しいもののための場所が生まれる。

・嘘つき、軽薄さ、卑怯な態度を軽蔑するようになる。

### 守護天使の場合に与える性質

目的を達成しようとする強い意志を持つ。創造のために、旧くなったものを破壊する。大胆になる、恐れがなくなり自信にあふれる、不思議な魅力をもつ、型にはまるのをきらう、独特の精神世界をもつ、相手の正邪を鋭い感で見抜く。霊的本質を解放する。一度だめになったものを再生させる。ものごとを根底まで深く掘り下げる。自分をよく知る。すばらしい集中力を持つ。方向性を定める直観が鋭くなる。抵抗に打ち勝って自由意志を行使する＊。何がなんでも目的を達成しようというときに現れ、驚くべき行動力を与えてくれる。死ぬことや、すべてを失うことを恐れなくなる。内にこもっていたエネルギーを外に向かって爆発させる。外部からの影響力のすべてを無化し、自分本来の意志を顕わにする。過去のしがらみのすべてを捨てて、仕切り直しをする機会を与える。

**＊抵抗に……を行使する**　あなたの意志が邪悪なものだった場合には、文字どおり「サタン（ルシファー）の転落」を味あわせる。

### 堕天使の場合に与える性質＊

みさかいなく破壊する、人見知りする、社交下手、命令的、横柄、頑固、強引、自己中心的、他者を見下す、自信をもつまでは臆病。力に頼る、お金で解決しようとする、非建設的で破壊的。しつこく執着する。

**＊堕天使の場合に与える性質**　天使の影が与える性質を意味する。「影」の定義については「堕天使」の項を参照のこと。

### 能力

あらゆるものを精神的に支配する力、想念衝撃波（意志力を固めた想念波）、観念動力（テレキネシス）、召喚魔術、相手に乗り移る力（移し身）、鏡を使った魔術（鏡に映った姿が動き出す、鏡の世界に引き込むなど）、炎のような目で見つめると発火する（原子エネルギーの解放・爆発）、分子結合の破壊（塩の柱となって崩れ落ちる）、催眠術、遠隔知覚、瞬間移動、テレパシー、思念バリアー

### その他の基本事項

伝授　自由意志、決断力、意志力、独立心、帝王学
ミトラと合体したときの呼称　弥勒明王
光線　　1。意志と力の第一光線。
北斗七星　貪狼星〔とんろうしょう〕
支配星　冥王星、高炉星（ヴァルカン星）
高揚星　太陽
曜日　　日曜
月齢　1　8　15　22
秘教色　赤色、朱色、オレンジ色、白色
顕教色（ハラン色）　赤色、黄金色、オレンジ色
聖七文字　クァーフ（Q）
元素　虚空
系列　闇
称号　自由意志の天使、クジャクの天使（タウス・メレク）、ライオン神

西欧名　サタナエル Satanael、サタン Satan
別名　アーリマン Ahriman
超古代名　ラトゥ Ratu　中国語では孔雀明王
グノーシス名　サクラス Saklas
北斗七仏　運意通證仏〔うんいつうしょうぶつ〕
明王　不動明王〔ふどうみょうおう〕
七童子　孔雀童子〔くじゃくどうじ〕
タロット　XX 審判、XIII 死神
位階　パテル／マテル（法堂主／老母）、別名をイーグル（鷲）　Pater/Mater　or Aquila
位階の保護者　神ミトラ（イェッラーミール）、ズルワーン、クロノス、老アイオーン
日本的なイメージ　孔雀明王、スサノオ＊、金剛蔵王権現（金剛童子）、不動明王、大黒天＊

**＊スサノオ**　「悪王子」と呼ばれる。悪は邪悪という意味ではなく、「強力」を意味し、荒ぶる魂の神とされている。
**＊大黒天**　だいこくてん。五穀豊穣、開運招福の神。七福神の一人。ヒンドゥー教の至高神シヴァのこと。

人物　預言者、指揮者、指導者
大師　高等司祭アディー、伝教大師ズルワンダート、伝説の武人マギ。アブラハム、アクバル大帝、エルモリヤ・カーン、マヌ。
教典　『黒の書』『啓示の書』『巨人の書』（大力士経）

聖画　アザゼル

聖画　アザゼル

聖画　アザゼル

聖画　アザゼル

## ジブリール　Jibri'l

聖画　ジブリール

### 性格

金色に輝く翼をもっていて、まばゆいばかりに白く輝いている。あらゆる生き物を保護し、やさしくその成長を導く。ジブリールと合一した者は、愛につつまれ、安らぎを得る。意識が広がり、アメーバ、植物、動物、人間、妖精、聖獣、天使、惑星神まで、あらゆる存在と意識がつながる。ジブリールは魔除けの力を持っているので、あらゆる邪悪な攻撃から護ってくれる。攻撃より防御が得意。やさしいので女性的なイメージが強い。七大天使の中で一番の夢解きの名手でもある。

ジブリールはファトフを授ける。ファトフはアラビア語で“開示”を意味し、ファトフを授かった者は、秘教を完全に理解し、それを秘儀化する能力を持つようになる。このため、世界教師の守護天使となっている。

ミトラ観音というのは、ジブリールに憑依合体して現れたミトラをさしている。

**＊ファトフ**　Fath。アラビア語。スーパーシーア派の神智学用語。

### 伝承

マホメットに啓示を与え、『コーラン』の章句を一語ずつ書きとらせた。人間が人間らしい心を持てるようにするので、人間性の守護天使といわれているが、人間らしさを失った者たちには厳しく、悪徳と腐敗の町ソドムとゴモラを滅ぼした。イスラーム神秘主義の修行者（スーフィー）の守護者でもある。魂が母親の子宮にやどっている間、そのすこやかな成長を見守ってくれる。旧約聖書『創世記』42:38-45 のベニヤミンでもある。

### 役割

・愛と智慧の力で、人間の意識を成長させる。

・世界宗教を広める。新しい世界宗教《大ミトラ教》を創始する。
・人々を世界教師《ミトラ＝弥勒》のもとに結集させる。
・弥勒転世と呼ばれる多数の教主（明主）たちをつくりだし、秘儀の基礎を築く＊。
・神の意識（思い、大慈悲、愛智）にふれさせようとする。

**＊秘儀の基礎を築く**　このような特別の役割を担う世界教師（イマーム）を特にアサースという。

## キーワード

・わたしは人々の善意を信じる。
・わたしの思いはきっと通じる。
・わたしたちはきっと分かり合える。
・わたしは愛される。
・わたしはかわいがられる。
・仲間はわたしを守ってくれる。
・わたしは喜びを分かち合う。
・わたしはかわいがる。わたしは愛する。補注２
・わたしは仲間を大切にする。

補注１　ジブリールには、「わたしは尽くす」というキーワードはない。「わたしは尽くす」は第六天使アズラーイルのキーワードである。ジブリールの愛は、対等で分け隔てなく、いかなる束縛もない。
補注２　ジブリールを守護天使しにして、十分に「愛され」「かわいがられる」とき、はじめて人間は他者を「愛する」余力を持つようになる。したがって、最初は「愛される」と「かわいがられる」と「好かれる」がジブリールのご利益だと思えばよい。

## 勧請

・他者を自分にひきつける磁力（人間的魅力）が欲しいとき。
・内面的な美しさを表にひきだしたいとき。
・保護育成する力と向上心が欲しいとき。
・神と人間の意識を一つに融合させたいといき（神と思いをひとつにしたいとき）。
・人間らしい暖かさ（愛）でつつまれたいとき。
・若さを保つエネルギーが欲しいとき。

## ご利益

・かわいらしくなる。
・愛される。かわいがられる。
・充実する。満足する。満ち足りる。
・問題が解決して満足する。
・友情・愛情でむすばれた交友の輪が生まれる。
・チャンスが広まる。

## 守護天使の場合に与える性質

　情愛深くなる、明るく魅力的になり、多くの人から好かれる、愛される、かわいがられる。かわいらしくなる。人好き合いがよくなる、優しくなる。意識が広がる、向上心が高まる、社会意識が高まる、啓蒙的になる。才能にあふれる。充実する。満足する。満ち足りる。問題が解決して満足する。友情・愛情でむすばれた交友の輪が生まれる。チャンスが広まる。

### 堕天使の場合に与える性質

傷つきやすくなる。不安と恐れにさいなまれる、人気とりをする、怠惰になる、情に流される、涙もろくなる。表現力不足で誤解される。

### 能力

エネルギーを吸収する力、あらゆるものを同化吸収する力、他者の力の増幅、夢や幻想の具現化、蝶よせの術、遠隔知覚、霊的治療力（再生など）、若返らせる力（どんな悪魔や怪獣も、幼児にしてしまう）、生物を成長させ強化する力、瞬間移動、テレパシー、思念バリアー

### その他の基本事項

伝授　瞑想、霊知、愛、友情、智慧、向上心
ミトラと合体したときの呼称　ミトラ観音（白弥勒、如意輪観音＊、妙見大菩薩＊、仙元大菩薩＊）

**＊如意輪観音**　にょいりんかんのん, Cintâmani-cakra。六道輪廻（地獄道、餓鬼道、畜生道、阿修羅道、人道、天道）のうち天道を導く観音のこと。星の観音ともいう。真言宗には「七星如意輪法」という秘法がある。P216
**＊妙見大菩薩**　みょうけんだいぼさつ, Miao-jian-da-pu-sa。尊星王〔そんしょうおう〕ともいう。「すべてを見張る」というミトラの性質を意訳した名前。北極紫微大帝ともいう。大菩薩は道教系の神々につかう尊称。
**＊仙元大菩薩**　せんげんだいぼさつ。弥勒講における天真弥勒つまり妙見大菩薩の呼び名（『身禄行者世代巻』、宮田編『弥勒信仰』雄山閣 1984、p186；『不二孝教』宮田『ミロク信仰』未来社 1975、p175）。元の父母様（無生父母）ともいう。

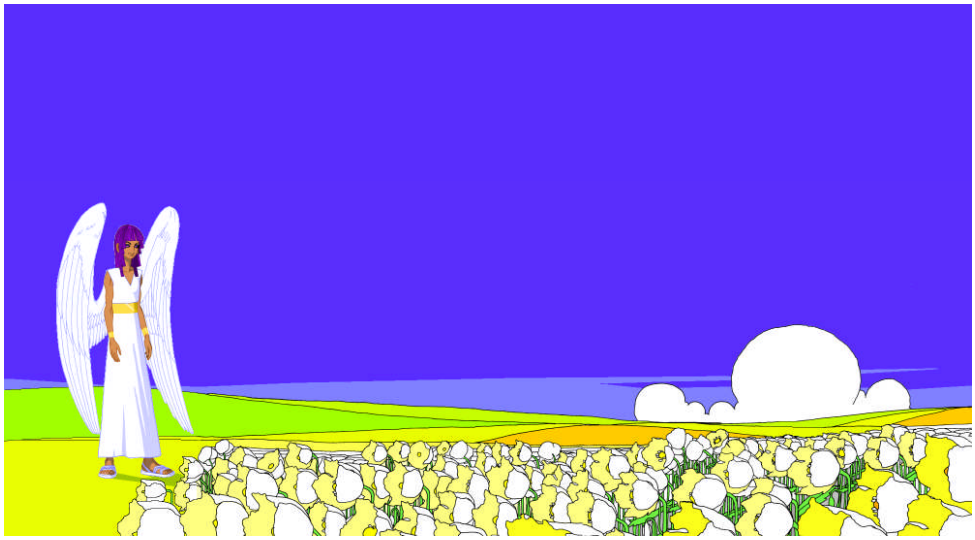
光線　2。愛と智慧の第二光線。
北斗七星　巨門星〔こもんしょう〕
支配星　太陽、木星
高揚星　金星
曜日　金曜
月齢　2　9　16　23
秘教色　青色、空色、サファイア色、黄金色
顕教色（ハラン色）　白金色、白色
聖七文字　ダル（D）
元素　虚空
意識次元　光のかけら（モナド）、明性、仏性
系列　光
称号　啓示の天使、慈悲の天使、人間性の天使
別名　スラオシャ Sraosha。中世になると発音が変化して、スローシュ Srôsh になる。古代ローマ帝国では、カウテスと呼ばれた。
西欧名　ガブリエル Gabriel
超古代名　フローシュタグ Xroštag　中国語では、白衣観音。
グノーシス名　オーロイアエール Ôroiaêl、エセーフェーク Esêphêk
北斗七仏　光音自在仏〔こうおんじざいぶつ〕
明王　馬頭明王〔ばとうみょうおう〕
七童子　光明童子〔こうみょうどうじ〕

タロット　X 運命の輪、XIX 太陽
位階　ヘリオドロムス（治道）　Heliodromus
位階の保護者　フワルミトラ、ヘーリオス、アポロ、若アイオーン
日本的なイメージ　アマテラス（女性）、観音菩薩＊（女性）、地蔵菩薩＊、布袋＊

**＊観音菩薩**　ミトラと観音は特別な関係にある。これについては、『シークレット・ドクトリンを読む』の「観世音」p79-80 とＳＤＩ：スタンザVI（ａ）p113-114 を参照のこと。
**＊地蔵菩薩**　第四光線の注釈を参照のこと。チベット仏教のダライ・ラマは観音の化身とされている。
**＊布袋**　ほてい。死んだとき、弥勒としての本性を見せたといわれている。未来予知と金運の神。七福神の一人。

大師　高等司祭ルキウス、高等司祭アブー・ベクル、イシュマエル、ジーラーニー、イブン・ヌサイル（アラウィー派の開祖）、ハッラージュ（陶酔型スーフィズムの開祖）、ルーミー（メフレヴィー教団の開祖）。ピタゴラス、プラトン、釈迦仏（ゴータマ王子）、スフラワルディー。
人物　ミール／ピスミール（弥勒転世）、菩薩、聖者（ワリー、バーブ、ハッジ）
教典　『黒の書』『創世記』42:38-45、『コーラン』『ケファライア』『蘇魯支経』（ザラスシュトラの教え）、『約翰秘経』（ヨハネによる秘密の書）、『真珠の詩』

聖画　ジブリール

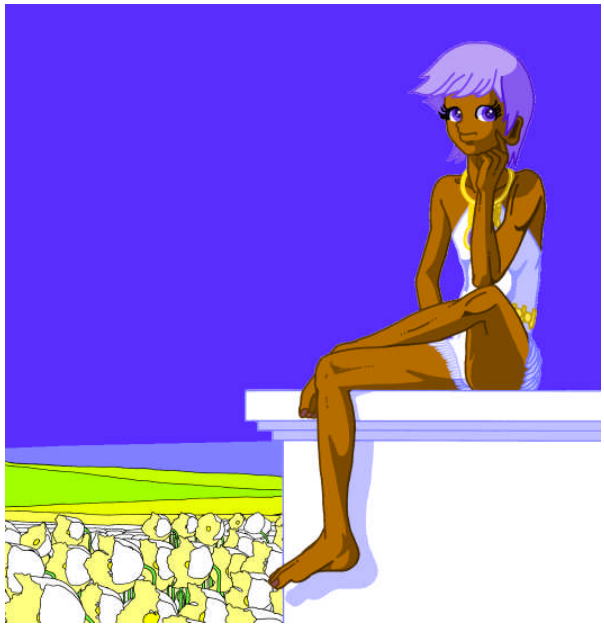


聖画　ジブリールと花畑

聖画　ジブリール

聖画　ジブリール

聖画　ジブリール



聖画　ジブリール

## シェムナーイル　Shemna'il

聖画　シェムナーイル

### 性格

シェムナーイルは強い責任感と使命感を持っていて、だまって実行する。伝説によれば、あらゆる秘儀と魔術を究めており、敵を呪縛し、敵の攻撃を封じこめる力を持っている。ミトラにまきついている金色のヘビだったときの知的な性質を七名の中で一番強く持っている。

シェムナーイルは、特殊な秘密使命を帯びている（伝承参照）。短剣と暗殺の天使という称号は、この秘密使命と関係している。シェムナーイルは、秘密使命の一環として、いじめに在っている人間（ミトラの友）のもとに現れて、その仕返しをする。シャムナーイルは、環境適応能力と生存力を強化してくれる。その範囲は広く、経済的な安定、仕事の確保、いじめや暴力からの保護も含まれる。経済的な安定を与えてくれることから、財運の守護天使として人気がある。

ハヤールはアラビア語で“想像力”を意味する。これは封印されているものに具体的なかたちを与えて召喚する能力をさす。この能力を授かった者は、神の手足となって活動するとされている。

**＊ハヤール**　Khayâl。アラビア語。スーパーシーア派の神智学用語。神智学における「想像力」は通常の言葉とはちがい、実体化・具現化を意味する。

### 伝承

正典『巨人の書』（別名大力士経）と『創世記』6 によれば、見張りの長で、人間たちにあらゆる魔法と太陽の封印の秘密（秘教の奥義）を教えた。彼ら（シェムナーイルら見張りと呼ばれる天使たち）は人間の娘たちが交わって、ネフィリムと呼ばれる巨人たち＊が生んだ。巨人たちは食物を食べ尽くすと人間をむさぼり食った。これを見て、神ミトラは巨人たちを洪水で押し流して滅ぼした。ミトラ神話では、この巨人たちを夜叉＊と結び付けて、彼らの主であるシェムナーイルを夜叉王（毘沙門天＊）と呼んでいる。

ミカエルたちがシェムナーイルの断罪を要求する中、アザゼルとアズラーイルはシェムナーイルを擁護した。その結果、アザゼルがシェムナーイルの身柄を預かることになった。この恩義ゆ

えに、シェムナーイルはアザゼルの懐刀となった。シェムナーイルはつぐないをするために天使たちの誰もがやりたがらない仕事をひきうけた。それは神ミトラの秘密命令で信者の敵を暗殺するという仕事である。裏の仕事であり、目立たない仕事だが、敵からは恐れられ、ミトラの友からは感謝され、絶対的な信頼を勝ち得ている。アザゼルを悪魔呼ばわりする者を暗殺するのも、重要な仕事である。

中世において暗殺教団＊は、シェムナーイルを守護天使としていた。

**＊ネフィリムと呼ばれる巨人たち**　『シークレット・ドクトリンを読む』ＳＤⅡスタンザ X:42【訳者解説】「巨人族の伝説」p247 参照。

**＊夜叉**　やしゃ。〔梵〕Yaksha。人間を食べる恐ろしい鬼神だが、人間に大きな恩恵を与えもする。ヒマラヤに住み、隠れた財宝を守護している。樹木とも関係が深い。日本では古来、夜叉に帰依して、新生児の無事を祈願し、名前をもらい受ける。

**＊毘沙門天**　びしゃもんてん。〔梵〕Vaisravana。別名をクベーラ Kuvera という。地下世界とそこにある財宝を守る神であり、夜叉たちの王、つまり、夜叉王とされる。

**＊暗殺教団**　Assassins。正式にはイスマーイール派（イシュマエル派）といい、ミトラ教系スーパーシーア派の一つ。カスピ海南岸のアラムート城砦〔じょうさい〕を根拠地とする。その指導者ハサネ・サッバーハは、山の老人（シャイフル・ジャバル）として知られる。

## 役割

・人間に能動知性（高次の思考力）と環境適応能力を与える。
・政治の基本原則と社会に適合するための礼節を教える。
・総合的な哲学、神聖科学（占星術）を教える。
・秘密伝教を行ない秘密結社を組織する。
・宇宙を統べる原理とそのはたらきを理解させようとする。

## キーワード

・自分の素質・才能・知性を信じる。
・これまでの準備・練習・下積みが生きる。
・わたしの敵は必ず報いを受ける。
・うらみは必ずはらす。
・わたしは誰よりも粘り強く、誰よりも手ごわい。
・わたしは執念深い。
・わたしの防御は完全だ。
・わたしは用意周到に準備する。
・わたしはやりくり上手で、手堅く財産をたくわえる。

## 勧請

・自分にとって本質的なこととそうでないものとの区別をせまられたとき。
・新しいやり方・方法を見つける必要があるとき。
・チャンスを生かして、金運向上にむすびつけたいとき。
・天職を見つけたいとき。
・自分をしっかりと守り、安全を確保する必要があるとき。
・復讐、呪返しをしたいとき。

## ご利益

・地に足が付く。安心する。安定する。

・問題が解決し、安心して先に進めるようになる。
・実力がつく。
・資格を取得する、財産・貯金・収入が増える。
・安全が確保できる。安全になる。

### 守護天使の場合に与える性質

クールでつねに冷静。知的で数字に強くなる、持続力と集中力が増す、偶然を信じない、粘り強く努力するようになる。財を築く、まじめに自力でものごとを成し遂げる。遊びをきらう、孤独に強い。合理的、客観的、計画的、哲学的になる。すぐれた経済感覚・現実感覚を持つ。

### 堕天使の場合に与える性質

保守的、保身的、陰謀的、疑い深くなる。本心を隠し、ずるく立ち回る。関心がないと極端に冷淡になる。口が重くなる。苦労性、心配性、吝嗇〔りんしょく〕の傾向が現れる。努力の割に報われず損失が多くなる。

### 能力

あらゆるものに変身する力、自分自身を変化させる力（髪の毛が針になったり、全身が鋼鉄になったりする）、カメレオンのようなカモフラージュ能力、透過術（物質の中にとけこむ力）、結晶化（金縛り）、ヘビ使い、岩の巨人、流砂、瞬間移動、テレパシー、思念バリアー

### その他の基本事項

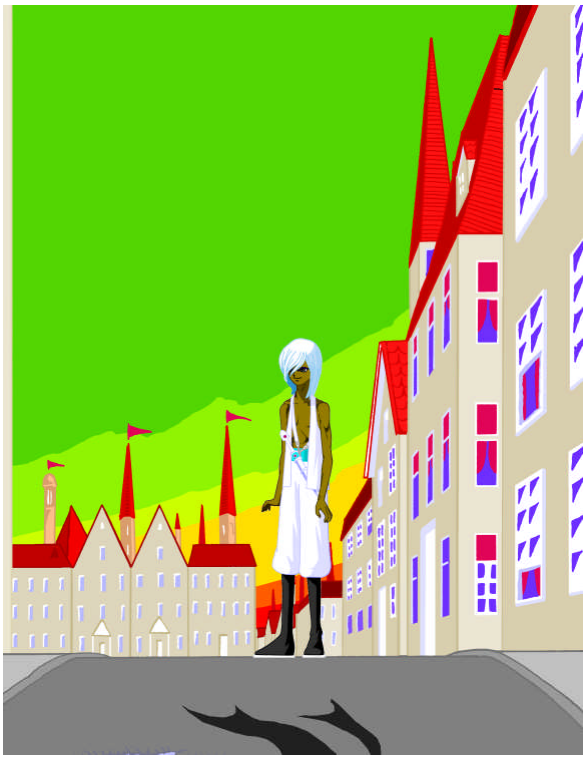
伝授　サバイバル能力、環境適応力、経済観念（賢いお金の使い方）
ミトラと合体したときの呼称　ミトラ夜叉王
光線　3。能動知性の第三光線。
北斗七星　禄存星〔ろくぞんしょう〕
支配星　地球、土星
高揚星　水星
曜日　水曜
月齢　3　10　17　24
秘教色　緑色、黒色
顕教色（ハラン色）　濃青色
聖七文字　ラー（R）
元素　虚空
意識次元　哲学者魂（アートマー体、マナス）、太陽天使
系列　闇
称号　暗殺と短剣の天使、ヘビの天使、禄存の天使
西欧名　シェミハザ Shemihaza, Shemyaza or Shemhazai
別名　毘沙門天〔びしゃもんてん〕（サンスクリット名はクベーラ）
超古代名　パフリベド Pahrbed、ラシュヌ Rashnu　中国語では、天主、十天大王。
グノーシス名　エレーレート Êlêlêth
北斗七仏　金色成就仏〔こんじきじょうじゅぶつ〕
明王　金剛夜叉明王〔こんごうやしゃみょうおう〕
七童子　白蛇童子〔しろへびどうじ〕、禄存童子〔ろくぞんどうじ〕
タロット　XXI 世界
位階　ペルセス（酔胡、酒仙）　Perses
位階の保護者　大女神ソフィア（ヘカテー、レア）

日本的なイメージ　金剛夜叉明王、毘沙門天＊、普賢菩薩＊
**＊毘沙門天**　びしゃもんてん。インドの財宝の神クベーラ。多聞天、武神。学業成就、富季自在の神。七福神の一人。
**＊普賢菩薩**　ふげんぼさつ。白い象に乗っている。文殊菩薩と一対で現われる。
人物　哲学者、神智学者（アリーフ）、思索家、高等司祭、経営者、社長、責任者
大師　カルデアのザラタス、聖なるマギ・マクシムス、司祭長マルセリヌス、高等司祭ナシルッディーン、ナスルーフ、ハサネ・サッバーハ。マハーチョハン。
教典　『黒の書』『巨人の書』（大力士経）、『ケファライア』『影たちの書』『蘇魯支経』（ザラスシュトラの教え）、『約翰秘経』（ヨハネによる秘密の書）

聖画　シェムナーイル

聖画　シェムナーイル

聖画　シェムナーイル



聖画　シェムナーイル

## ダルダーイル　Darda'il

聖画　ダルダーイル

### 性格

七大天使の中でもっとも中性的（両性具有的）な天使。ダルダーイルは、やさしく語りかけて＊、希望と導きを与えてくれる。ダルダーイルは内的な葛藤の解決や内面の探求を手伝い、内的変容を導き、不安をしずめて心を安定させてくれる。心の中のもやもやや葛藤を解消してくれる。このため、すぐれた霊的教師として慕われている。変身が得意で、少年・少女・女・老人・動物といったさまざまな姿をとって現れ、人間を導く。そのため、人間は、なかなかダルダーイルだということに気づかない。少年から少女になったり、少女から少年になったりと性転換するところに特徴がある。

＊やさしく語りかけて　尊称にある「甘い言葉」とは、クルド語で「やさしい言葉」を意味する。

ダルダーイルは、好奇心が強く、いろいろな場所に出入りする。薄明系列なので、魔界の住人たちの中にもたくさんの友だちを持っている。人間の影に呼びかけて、その人のことについていろいろと聞き出すこともできる。愉快なことが好きで、ユーモアにあふれるが、多少気まぐれ。

### 伝承

『トビト書』によれば、ラファエルはトビトの息子トビアスがニネベの町からメディア地方へと旅をしなければならなくなった時、トビアの前に現れ、同伴者として旅をし、旅の終わりになってはじめて自分が七大天使の一人であることを少年トビアに明かした。『第一エノク書』22 によれば、エノクをつれて冥府を案内した。西欧の錬金術においては、メルクリウスとして知られ、数々の伝承がある。ゲゲゲの鬼太郎、悪魔くん、怪物くん、魔女っ子、妖怪人間ベム・ベラ・ベロ、老仙人のようなイメージで現れ、闇、無意識、潜在意識の中にある何かをとりだしてくる手

助けをしてくれる。最初からすぐにダルダーイルと分かる場合はめったになく、ずっとたってから「えっ、ダルダーイルだったの」と驚くことの方が多い。

### 役割

・人間に気づきの力（問題を発見し、それを解決する能力）を授ける。
・光と闇の二元論をはじめとする弁証法的な手法を用いて、矛盾を顕在化させ、その後、矛盾の解消をうながす。
・神秘教団を組織して、闘争的な伝教を行なう。
・ヨーガや錬金術といった苦行をともなう修行道を歩む者を保護する。
・演劇性のある秘儀（密儀）を構築し、第二光線の宗教へと人々を導く。
・相補・相反する二つのものを統合するための智慧を与えようとする。

### キーワード

・わたしは光と闇を調和させ、自分の内面を完成させる。
・わたしは内的なひらめきだけに従う。
・わたしは戦いの後の平和が欲しい。
・わたしは自己の内面の葛藤を必ず解消する。
・わたしは自己探求を必ず成功させる。
・わたしは無意識を探求し、自分を知る。
・わたしは自分の魂を完成させるために闇の中に降りて行き、必ず宝をとりもどす。
・わたしは「人生」という名の心理ドラマの意味を解明する。
・わたしはユーモアを愛し、あらゆるものの内に真理と喜びを見出す。

### 勧請

・意識が一つ高次の段階に上ろうとして見えない壁を突破しようとするとき現れ、確信と力を与えてくれる。
・人間を内的ななぞ解きに熱中しているとき。
・自己の無意識の奥深くにある混沌とした領域に入りこみ、そこから一粒の真珠をひろって来たいとき。
・何かの全体像を直観的につかみとろうとして、絵を描いたり、瞑想したりしているとき（この場合、けっして分析したり、書物で調べようとはしない。）
・果てしなく堕落して楽になりたいという気持ちと光明を見つけて上昇できるかもしれないという予感・確信が入り混じるとき。
・自分で自分を納得させている理屈を死守しようという気持ちとそれを捨てて刷新しようという気持ちがぶつかるとき。

### ご利益

・たいへん重要な秘密や謎を解く探偵のような気分になる。
・ケンカの後の仲直り。戦争の後の平和。雨降って地固まる。
・内的矛盾が解決し、心が晴れ晴れとする。
・精神的に成長し、人間が一回り大きくなる。

### 守護天使の場合に与える性質

　器用で機転が利き、のみこみが早くなる。芸術的センスが増す。陽気でユーモアにあふれる。負けず嫌いになる。

## 堕天使の場合に与える性質

闘争的で摩擦が多くなる。（出世欲）が強くなる。絶えず不満を感じる。気難しくなる。気分の浮き沈みが激しくなる、気分に左右されやすくなる、交友関係の善し悪しに人生を左右される、ショックを受けると大きく乱れ堕落する。

## 能力

あらゆるものを変形させ、自在に操作する力、観念動力（テレキネシス）、カードを使った術（タロットやトランプなど）、影のなかにとけこむ力、影（ダブル）の操作（影を本体から分離させ、本体と戦わせるなど）、月光を使った術、夢の操作、鳥よせの術、瞬間移動、テレパシー、思念バリアー

## その他の基本事項

伝授　ヨーガ、錬金術、直観力、芸術的センス、漢方・ハーブ
ミトラと合体したときの呼称　ミトラ地蔵
光線　4。戦いをとおして調和に至らせる第四光線（二元対立を克服して調和に至らせる第四光線）
北斗七星　文曲星〔もんごくしょう〕
支配星　月、水星
高揚星　月
曜日　月曜
月宿　5　12　19　26
秘教色　黄色、銀色、白色
顕教色（ハラン色）　白色、銀色、クリーム色
聖七文字　カーフ（K）
元素　風
意識次元　聖者魂（ブッディ体）
系列　光（中立的なので、正確には薄明または黄昏）
称号　白い風の天使、甘いことばの天使、調和の天使、魔除けの天使、希望の天使、治療の天使、変容の天使
西欧名　ラファエル Raphael
超古代名　マーンベド Mânbed　中国語では、地蔵明使
グノーシス名　ダウエイタイ Daueithai
北斗七仏　最勝吉祥仏〔さいしょうきちじょうぶつ〕
明王　大威徳明王〔だいいとくみょうおう〕
七童子　紫玄童子〔しげんどうじ〕、玄冥童子〔げんめいどうじ〕
タロット　I 魔術師、II 女教皇、IX 隠者、XVIII 月
位階　コラックス（烏天狗）　Corax
位階の守護者　ヘルメス（トト、エノク、イドリース、ティール、マーキュリー）、老賢者、仙人
日本的なイメージ　**久延毘古命**＊、猿田彦神〔さるたひこのかみ〕、天神様（菅原道真）＊、地蔵菩薩＊、斉天大聖（孫悟空）＊、寿老神＊

**＊久延毘古命**　くえびこのみこと。大国主神が国造りの際、多くの神が知らなかった少彦名命〔すくなひこなのみこと〕の神名を教えた神であり、知恵は世に類なく優れ、『古事記』には「足はあるかねど天下の事を、尽（ことごと）に知れる神」と記されている。
**特に受験合格・入学・進学・就職等の成就安全をおまもり下さる、知恵の神様として信仰されており、社**

**頭にはそれぞれの願い事を書いた「願かけ絵馬」が数多く掛けられています。**

**＊天神様（菅原道真）**　てんじんさま（すがわらのみちざね）。学問の神様として全国各地に祭られている。

**＊地蔵菩薩**　じぞうぼさつ。つねに身近なところにいて、子供にも友だちのように接するので、日本各地に子安地蔵の伝承がある。釈迦仏が涅槃に入ってから弥勒菩薩がこの世に現われるまでの間、この世は無仏の時代になる。そこで、地蔵菩薩が派遣され、六道の衆生を救うことになったといわれている。地蔵菩薩と観音菩薩は、第二光線と第四光線の両方に現われる。それは、第二光線と第四光線の間には、ある種の連続性があるためである。

**＊斉天大聖（孫悟空）**　さいてんたいせい（そんごくう）。道教の正式な神様の一人。『西遊記〔さいゆうき〕』の主人公。中国、台湾、東南アジアで人気が高い。タンキー（童占）につくことが多く、それが人気を高める結果になっている。

**＊寿老神**　じゅろうじん。不老長寿、智慧の神。七福神の一人。

人物　芸術家、修行者（スーフィー）、ヨーガ行者、錬金術師
大師　賢者ヘルメス（イドリース）、カーディル、聖者イリヤ。イラクの大師たち（バスラのハサン、赤いモーゼ、ビスタームのバヤジッド）。セラピス・ベイ。
教典　『黒の書』『長老ハサンの詩』『ケファライア』『蘇魯支経』（ザラスシュトラの教え）、『約翰秘経』（ヨハネによる秘密の書）

聖画　ダルダーイル

聖画　ダルダーイル

聖画　ダルダーイル

聖画ダルダーイル

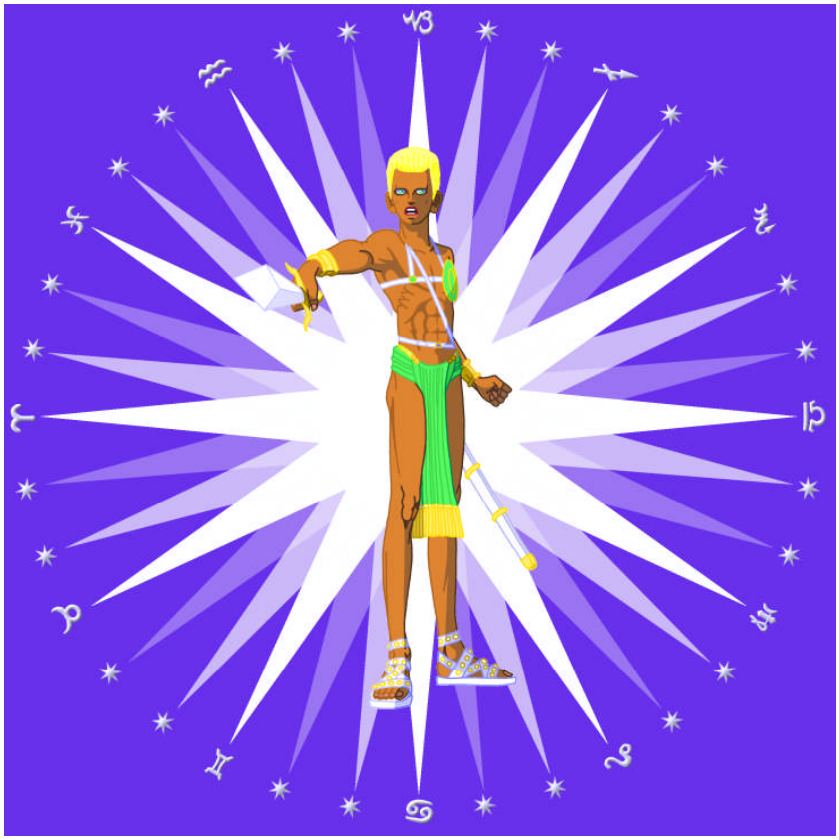
聖画　ダルダーイル

聖画　ダルダーイル

聖画　ダルダーイル

聖画　ダルダーイル

## ミカエル　Michael



聖画　ミカエル

### 性格

アラビア語でヌールは光を意味するので、この名前は光の天使すなわちミカエルを意味する。ミカエルは、太陽神の摂政と呼ばれ、ワシの姿となって現れる。親切でまじめだが倫理的に厳格でやや堅く、融通がきかないところがある。イスラームに伝わる伝承では、ユーモア・ジョーク・冗談はいっさい通じない。正義と公正を重んじる。差別をきらい、公正さをたいせつにする。ミカエルの堅さは折り紙つきだが、この堅さが社会正義を支えている。カタリ派やボゴミール派では、弥勒転世（キリスト）の守護天使とされた。今日でも、ジブリールとともに弥勒転世の守護天使あるいは天上的分身とされている。サフラン色（黄色）の髪をしていて、エメラルド色に輝いている。親切で、実り、豊かさを与えてくれるが、ひとたび怒ると雹〔ひょう〕を降らせることもある。悪を呪縛する強力な力をもっている。光系列の天使の中で、もっとも強い攻撃力をもつ。ミカエルの戦法を一言で言えば「奇法を封じて、正法で勝つ」＊といえる。相手の幻術や魔術をすべて封じて無効化し、剣による戦いに持ち込む。

**＊「奇法を封じて、正法で勝つ」**　奇法とは、忍術、幻術、魔術、毒矢、だまし討ちなどのこと。正法とは、正統的な剣術のこと。

ミトラの七大天使のうち、ミカエルだけが長剣を帯びている。長剣は槍と同様。倫理と規律の象徴である。

### 伝承

アザゼル、シェムナーイル、アズラーイルが天上で反乱を起こしたとき、自らを盾として神ミ

トラを守り、彼らを天界から追放したことで知られる。ミカエルは組織の中のエリートであり、反乱を起こしたアザゼルと好対照をなしている。

『タロット大事典』に登場するミトラは、ミカエルに憑依合体して現れたミトラである。キリスト教の伝承では、ミカエルは小審判を司り、死者の魂を裁く。この伝承はミトラの小審判をキリスト教化したものであり、ミトラとミカエルの結びつきの深さを示している。

### 役割

・公平・公正・平等という理念に同時代性（時代に適合させること）をもたらして、倫理を強化育成する。
・倫理感によって、利己主義を抑制し、物質的な豊かさをもたらす方向に人々の思想を導く。
・多くの人々の意識を現実・現世に向かわせ、個人と社会に物質的な繁栄をもたらそうとする。
・価値基準を明確にし、それに照らし合わせて物事を判断する。

### キーワード

・わたしは物事の筋道を大切にする。
・わたしは道理を重んじる。
・わたしは義理を大切にする。
・わたしは社会契約を重んじる。
・わたしは社会正義を信じる。
・わたしは正義と平等を信じる。
・わたしは差別を許さない。
・わたしは不正を許さない。
・わたしはいじめを許さない。
・わたしは弱いものいじめを許さない。
・わたしは、ぬけがけや一人勝ちを許さない。
・わたしは科学的で合理的な考え方をする。
・わたしは基準を明確にして比較・評価・分析をする。
・わたしは決めたことをきちんと守る。
・わたしはきちんと約束を果たす。

### 勧請

・倫理的・道徳的・法的・社会常識的に自分が正しいかどうか確信がないとき。
・社会的通念とのずれが生じたとき。
・現実や世の中の風潮にとらわれて、原理原則を見失っているとき。
・不当なあつかいを受けているとき。
・規則・倫理・道徳・法律にこだわりすぎて、人間味を失ったとき（ジブリールが現れるときもある）。
・問題を解決しようとして、分析したり、書物で調べたり、過去の事例を調べたりするとき。

### ご利益

・自分の生き方や考え方の正しさに確信を持つ。
・強い自信が生まれる。
・問題が解決し、すっきりとさわやな気分になる。
・具体的な理論・教訓を得る。

### 守護天使の場合に与える性質

高い倫理観（倫理的に厳格）をもつ、善悪をはっきりさせたがる、科学性を求める。知識欲が旺盛になる。迷信をきらう。努力家で完全主義者になる。時代の流れと調和するように自分の見識を調整する。

### 堕天使の場合に与える性質

思い上がり傲慢になる。毒舌、批判好きで他人のあら探しをする。不器用で、なにごともスローになる。潔癖性が現れる、先入観をもちやすくなる。流行に流されやすくなる。

### 能力

思念衝撃波、発火力（光と熱を発する力）、火球、雹〔ひょう〕、瞬間移動、テレパシー、思念バリアー

### その他の基本事項

伝授　強い倫理感、道徳心、強い自我、合理的な判断力
ミトラと合体したときの呼称　ミトラ神将（神将弥勒）
光線　5。具象的知識の第五光線
北斗七星　廉貞星〔れんていしょう〕
支配星　金星
高揚星　土星
曜日　土曜
月宿　7　14　21　28
秘教色　紺色（ネイビーブルー）、インディゴブルー色、白金色
顕教色（ハラン色）　藍色、黒色、エメラルド色、翡翠色
聖七文字　ウァウ（W）
元素　火
意識次元　人間魂（メンタル体）
系列　光
称号　太陽神の摂政、神の盾。道徳の盾。イエスの守護天使。
西欧名　ミカエル Michael。アラビア語ではミーカール Mîkâl
別名　哪吒太子〔なたたいし〕（『西遊記』と『封神演義』に登場する神将）
超古代名　ザンドベド Zandbed　中国語では、催光明使
グノーシス名　ハルモゼール Harmozêl、ゲラダマス Geradamas
北斗七仏　広達智弁仏〔こうたつちべんぶつ〕
明王　降三世明王〔ごうさんぜみょうおう〕
七童子　真武童子〔しんぶどうじ〕、円元童子〔えんげんどうじ〕
タロット　III 女帝、XI 正義
位階　ニンフ（女道士）　Nymph(Occult)
位階の守護者　女神アナーヒター（イシュタル、ヴィーナス、アフロディテ）、女道士、女性司祭
日本的なイメージ　弁財天＊、日本武尊〔やまとたけるのみこと〕、虚空蔵菩薩＊、**哪吒**太子＊、

**＊弁財天**　べんざいてん。女神アナーヒターの日本名。技芸上達、福徳自在の女神。七福神の一人。

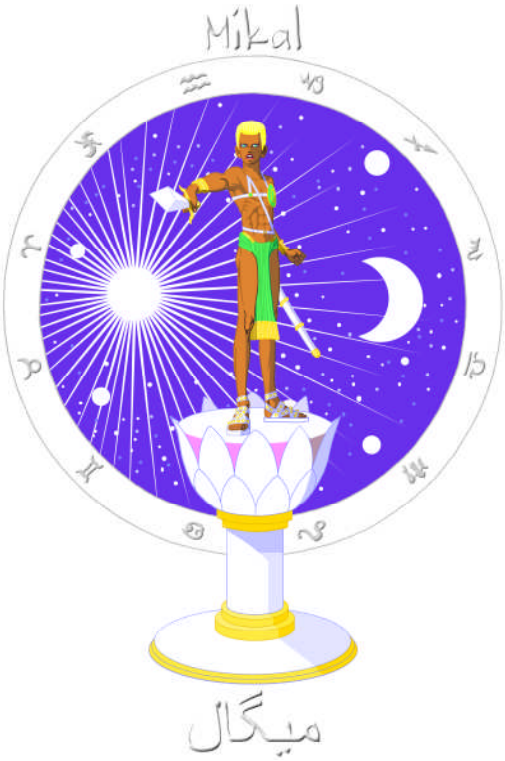
**＊虚空蔵菩薩**　こくうぞうぼさつ。虚空つまりアーカーシャという蔵からすべての人々に与える御利益をとりだして与える菩薩という意味。金星と関係する菩薩。

**＊哪吒太子**　なたたいし。道教の正式な神の一人。『封神演義〔ほうしんえんぎ〕』の主人公。

『西遊記』では孫悟空討伐を命じられ、孫悟空と戦う。

人物　道徳家、説教師、憲兵、検事、警察、弁護士、科学者、女道士、女性司祭
大師　高等司祭フェクルディーン、女性高等司祭カトゥーナ、イアンブリコス、ハッジ・ベクターシュ（ベクターシュ教団の開祖）。聖パウロ、ヒラリオン。
教典　『黒の書』『ケファライア』『蘇魯支経』（ザラスシュトラの教え）、『約翰秘経』（ヨハネによる秘密の書）『巨人の書』（大力士経）、『秘密の書』

聖画 ミカエル




聖画　ミカエル

聖画　ミカエル

聖画　神の盾ミカエル
――神の名において悪を討つ！
――天に代わって不義を討つ！

## アズラーイル　‘Azra’il

聖画　アズラーイル

### 性格

アズラーイルは四つの顔と四枚の翼をもっている。アズラーイルが人間に見せるすがたは、なぜか女性らしさや男性らしさが強調される。妖しくなまめかしい女性として現れるかと思えば、筋骨たくましい戦士・力士のようなすがたで現れる。人生の裏と表と、人間の気持ちや感情の動きを知り尽くしているので、厚い同情心を持っているが、敵にまわすときわめて危険。ズルワーン派のマギの記録には、大魔母アズ（アズラーイル）の魔力はアーリマン（アザゼル）を上回ると記載されている。アズラーイルは人間の動機を見抜き、それが不浄な場合にはきよめるための試練を与える。動機が純粋な場合には、それを強め、目的達成の気力を与えてくれる。すべての天使の中で、挫折、敗北、孤独、死別、堕胎、認知されない子ども、子どもの放蕩〔ほうとう〕等々、人間の悲哀、弱さ、つらさ・苦しみなどをもっともよく知っている天使であり、霊的な成長を願う者に特別目をかける。病気をなおしてくれるが、死ぬべき時が来たのに、死に抵抗すると、リンゴをもって現れて、死の心がまえをさせる。たいへん強い感情移入力をもっているので、強い感情的感化力を発揮する。

### 伝承

アズラーイルは、かつて大魔母アズと呼ばれていた。魂と肉体の結びつきの秘密を知っているので、アダム（マシュヤ）とイヴ（マシュヤナグ）の子孫の創造に関与・干渉した＊といわれている。複雑な習合の過程でアムシャスプンタの一人とされる不死の女神アムルタート Amurtat ——中世では発音が変化して、ムルダード Murdad という——の一部も融合している。シャミール＊という別名もある。正典『巨人の書（別名エノク書 I ）』20 によれば、アザゼルやシェムナ

ーイルとともに見張りとして行動している。大洪水のあと、ノアに病気の治療法を記した本を与えている。

**＊アダムと……関与した**　くわしくは『シークレット・ドクトリンを読む』の SD Ⅱ スタンザⅦ：２７の【役者解説】の「大師たち」p226-230 を参照。『詳解ミトラ教の秘教占星学』第二章６ではアーリマンとともにかかわっている。
**＊シャミール**　Shamil。シャミールのことを西欧ではサマエル Samael と発音する。西欧では、アーリマンとアズ、アザゼルとサマエルは混同された。

## 役割
・自己犠牲と奉仕の精神を育成する。
・夢（理想）を見せて、人々をその実現へと駆り立てる。
・夢（理想）を実現しようという意欲をひきだす。
・人間的なはからいを捨てさせ、神に帰依させる（いわゆる信仰心をつくりだす）。

## キーワード
・わたしは理想（夢）が必ず実現すると信じる。
・わたしは、わたしの目的を達成するために全力を尽くす。
・わたしは忠誠を尽くす。
・わたしは一途に尽くす。
・わたしはひたむきに尽くす。
・わたしは忠義を尽くす者にほうびを与える。
・わたしはひたむきに奉仕する者にほうびを与える。
・わたしの心は湖水のように澄みきっている。
・わたしの純粋な動機は偉大な力を発揮する。
・わたしは美しい。
・わたしにはすばらしい性的魅力がある。
・わたしは絶対に勝つ。
・信じる力は偉大だ。
・信仰の力はすべてにまさる。
・わたしは大悲・大慈に目覚め、菩薩の道を歩む。

## 勧請
・自分の動機をきよめたいとき。
・妙なこだわりを消し去りたいとき。
・生きる力、勇気が欲しいとき。
・美しくなりたいとき。
・美を追求したいとき。
・肉体を改造したいとき。（痩身、美容、整形など）
・理想を追い求める力が萎えたとき。

## ご利益
・やる気が出る。集中力が増す。
・もっとがんばろうという気持ちになる。
・目標達成の意欲が湧いてくる。
・動機がきよらかなになる。（濁った水が澄みわたる。）

・過度な感情（わだかまり、物欲、執着心、恨み、憎しみ、嫉妬心）が消える。

### 守護天使の場合に与える性質

理想を追い求める。夢と幻想を愛する。理想主義者で、思い込むと一途になる。理想を実現するための行動力が生じる。忠実で、献身的に奉仕する。

### 堕天使の場合に与える性質

偏見・先入観、嫉妬、悪意に満ちる。頑固になる。虚言癖が現れる。目立ちたがり屋で、プライドが高くなる。見栄っ張りになる。理想が高すぎるため失意を味わうことが多くなる。夢追い人になる。自分のことがおろそかになりやすい。

### 能力

幻術、呪詛（わら人形、魔法陣、護符など）、催眠術、夢の操作、分身術（ダブルをつくりだす力）、人形使い、妖精と動植物の支配（特にツタ）、水をつかった魔術（霧、雨、雲、雪、泡など）、遠隔知覚、瞬間移動、テレパシー、思念バリアー、呪い祓い、呪い返し。

### その他の基本事項

伝授　読心術、感情移入力、感情的感化力、芸術的センス、夢見る力、理想に向かって献身的に努力する力
ミトラと合体したときの呼称　弥勒聖母または摩多羅神＝ダキニ天
光線　6。理想主義と献身の第六光線
北斗七星　武曲星〔むごくしょう〕
支配星　火星、海王星
高揚星　木星
曜日　木曜
月宿　4　11　18　25
顕教色　銀薔薇色、暗赤色、ワインレッド色、赤紫色。
顕教色（ハラン色）　赤茶色、銅色
聖七文字　ヌーン（N）
元素　水
意識次元　動物魂（アストラル体）
系列　闇
称号　死の天使、悲哀の天使、四面の天使。
西欧名　サマエル Samael, Camael
超古代名　ウィスベド Wisbed、中国語では降魔勝使。大魔女アズ Az、冥〔くら〕い生命の女神ゾーイー Zôê
グノーシス名　冥〔くら〕いソフィア Sophia Achamôth
北斗七仏　法海遊戯仏〔ほっかいゆうぎぶつ〕
明王　軍荼利明王〔ぐんだりみょうおう〕
七童子　夢幻童子〔むげんどうじ〕
タロット　IV 皇帝、VIII 力、XII 吊し人、XIII 死神
位階　ミレス（明王）　Miles
位階の保護者　明王、バフラーム（ウルスラグナ）、ヘラクレス
曜日　木曜（アルハミース、al-Khamîs）
日本的なイメージ　倉稲魂命（女神）＊、茶吉尼天＊（ダキニ天、女神）、稲荷（女神）、鬼子母神、仁王・金剛力士＊、恵比寿＊

**＊倉稲魂命**　うかのみたまのみこと。**素戔嗚尊**の娘。稲荷〔いなり〕のこと。稲などの穀物の育成を司る豊穣の女神。
**＊茶吉尼天**　だきにてん。『シークレット・ドクトリンを読む』の【訳注】の「カド」p246 を参照のこと。
**＊仁王･金剛力士**　におう・こんごうりきし。仁王はインドの武神ヴァジラダーラのこと。
**＊恵比寿**　えびす。海の漁神。商売繁盛、交通安全の神。七福神の一人。

人物　奉仕者（フェダイヤーネ）、戦士、武道家、舞踏家、芸術家、美に関係する仕事に従事する人
大師　高等司祭サジャディーン、アハレハック派の聖者ムスタファ。ザラスシュトラ、モーゼ、イエス、聖ヨハネ、ロヨラ。
教典　『黒の書』『巨人の書』（大力士経）、『宝蔵浄命経』『蘇魯支経』（ザラスシュトラの教え）、『約翰秘経』（ヨハネによる秘密の書）

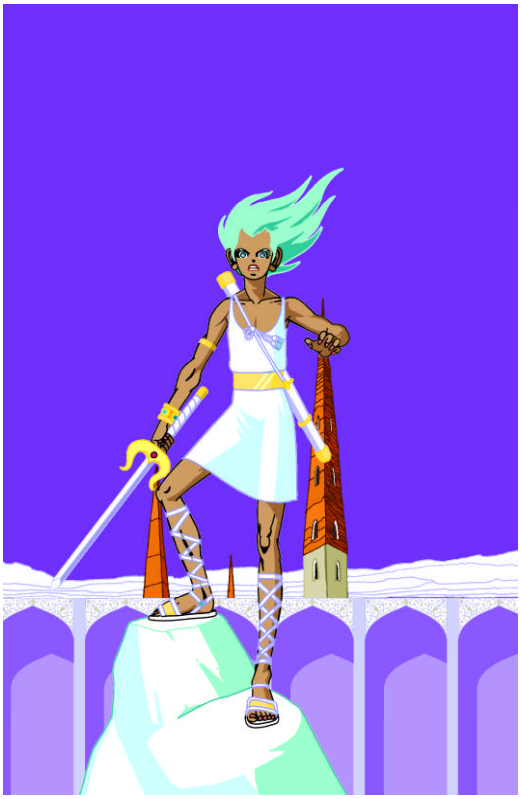
聖画　アズラーイル

聖画　アズラーイル

聖画　アズラーイル

聖画　アズラーイル

## イスラーフィール　Israfil



聖画　イスラーフィール

### 性格

イスラーフィールは、ややとんがった性格をしている。ふだんはクールだが、ときどき妙なところでつっぱり、ひどく熱くなる。電光石火という言葉にふさわしく、すばやく行動する。芯が強く、負けず嫌いで、挑戦的なところがある。ミトラの天地創造を手伝ったので、創造の天使ともいう。天地創造は、眼に見えない原像を物質世界の中に具現化（物質化）するかたちで行なわれた。家を建てる時には、まず土台をつくり、つぎに柱を建て、壁と窓をつくり、最後に屋根をのせる。順番をまちがえると家は崩れてしまう。この例からも分かるように、具現化においては、順番、配置、タイミング、テンポを統制する必要がある。イスラーフィールはこの統制を行なう力＊の化身なので、七大天使が活動するときには、かならず先鋒を勤める。それゆえ、先導者（アッサービク）＊という異名がある。

易や九星など、気の循環リズムに基づく占いは、天地を循環している気のリズムに乗らなければ正しく実践できない。このようなタイプの占いを人類に授けたのはイスラーフィールである。

イスラーフィールは、煙からつくられたジンたちの主であり、彼らを召喚して自在にあやつる。光系列の天使の中で、もっとも魔術に熟達している。マギ・巫女・シャーマンのもとに現れて霊能をみがくための修行を助け＊、儀式魔術や降霊術（神霊を召喚する術）をつかった憑依合体能力、呪術力、霊視力、霊的治療力＊を育成してくれる。さらに憑依合体してエネルギーを授け、霊能をひきだしてくれる。このようにイスラーフィールは人間の中に隠れている能力そのものをひきだしてくれるので、その恩恵は体が暖たまったり、頭がすっきりしたりするというかたちで現れ、言葉や視覚的イメージによるメッセージになることは少ない。

イスラーフィールは雷＊（創造のエネルギーであるとともに破壊のエネルギーでもある）を自在にあやつる。勝負で負けそうなとき、すばらしい復活の力をあたえてくれる。もう一度やって

みようというエネルギーがわいてくる。このように雷を自在にあやつるので、イスラーフィールは雷神・龍神といったイメージで現れる。

**＊この統制を行なう力**　シャーマン・巫女が持つ力なので、巫力〔ふりょく〕という。マギの力の一つ。魔術的意志ともいう。
**＊先導者（アッサービク）**　As-Sâbiq、アラビア語。スーパーシーア派の神智学用語。
**＊ジン**　Jinn。妖霊のこと。アラジンの魔法のランプから出てくる巨人はジンの一例。油断すると召喚した者に襲いかかってくる。陰陽道では識神という。
**＊霊能をみがくための修行を助け**　内面的な探求や悟りを得るための修行を助けるのはダルダーイル。イスラーフィールは霊能者のいわば攻めるための能力をひきだしてくれる。
**＊霊的治療力**　これはトカゲやイモリの尻尾の再生と同じ種類の身体組織再生力を強めたものである。手かざしは、この一つ。
**＊雷**　易の《３４雷天大壮》《１６雷地豫》《４０雷水解》などを参考にするとよい。

## 伝承

イスラフィエル Israfiel、セラフィエル Seraphiel、ウリエル Uriel or Auriel ともいう。これらの名前はいずれも「燃える者」を意味している。四枚の翼をもち、すべての天使のなかでもっとも甘美な声をしている。復活の歌をうたい、最後の審判のはじまりをつげるトランペットを吹く。一日に六回地獄のようすを見てなみだを流したので、神ミトラは地上が洪水にならないようにイスラーフィールをなぐさめたという。三年間マホメットを指導して秘儀を授け、霊的にめざめさせて預言者にし、ジブリールの啓示を受けとれるようにした。預言者をそだてるということから、占い師の守護者として崇拝されている。

## 役割

・人間に高次の宇宙法則を応用する能力を授ける。
・人体に潜む潜在能力の開発を進める。
・気功、鍼灸、手かざしといった霊的治療の力や、カイロプラクティク、整体術、各種セラピー、リラックス法、能力開発法を普及させる（シャーマンの呪術や儀式魔術のような霊的存在の召喚・実体化の技術、たとえば、降神術も含まれる）。

## キーワード

・わたしは手順、配置、タイミング、リズム（テンポ）を完全にコントロールする。
・わたしは手際よく能率的に仕事をこなせる。
・わたしは仕切りがうまい。
・わたしは必ず復活する。
・わたしはもう一度チャンスを必ずつかむ。
・わたしは何度だって立ち上がる。
・わたしは神ミトラのマギであり、シャーマンであり、巫女だ。
・わたしは気の流れを自在にあやつれる。
・わたしは霊的治療をおこなえる。
・わたしは人体に潜む潜在能力の開発を進める。

## 勧請

・ものごとを実現するために必要な順番、配置、リズム（テンポ）、タイミングを整えたいとき。
・気の流れをコントロールする力をもちたいとき。
・創造的な能力を高めたいとき。

・復活するための力が欲しいとき。
・規則や原理原則にとらわれすぎて、融通性を失っている場合に現れているとき（ジブリールあるいはミカエルが現れる場合もある）
・常識や「どうせこうなるに決まっている」という過去の経験則にとらわれすぎているとき。

### ご利益
・新しいアイデアをあらゆるものに応用しようとする。
・天地創造の秘密の一端を知ったかのように気分が高揚する。
・生き方、考え方に大きな変化が生じる。
・手際がよくなる。ものごとの処理がたくみになる。

### 守護天使の場合に与える性質
革新性とフロンティア精神にあふれる。新しいアイデアを持ちこむ、ルール化・法則化する。ものごとの根幹部分にはたらきかけ、新しいルールや法則に従わせようとする。自由を求める、数字に強い、異彩を放つ。

### 堕天使の場合に与える性質
新しいやり方に合わないものは徹底的に破壊する。反抗的になる。過激で極端に走りやすくなる。既成のルールと摩擦を起こす。奇人変人になる。風変わりで、誰からも理解されなくなる。気まぐれで飽きっぽくなり、突然の予期せぬ変化をする。身辺に異変が生じ易くなる。あるいは逆に、考えが硬直化し、頑固で意地っ張りになる。やたらと形式にこだわる。習慣を変えることを嫌う。急激な変化に弱くなる。

### 能力
召喚魔術、あらゆる種類の波動のコントロール（光波、音波、電磁波など）、電子流・電気信号のコントロール、電波・電線を利用した移動、電撃、透視、霊的治癒力、生物を変異強化する力（翼を生やすなど）、化石動物の復活、星光の利用、瞬間移動、テレパシー、思念バリアー

### その他の基本事項
伝授　気を操作する能力（気功、鍼灸、カイロプラクティクなど）、プログラミング、回路設計力
ミトラと合体したときの呼称　弥勒天神、龍神、文殊。
光線　7。儀式的秩序の第七光線
北斗七星　破軍星〔はぐんしょう〕
支配星　天王星
高揚星　火星
曜日　火曜
月宿　6　13　20　27
秘教色　紫色、青緑色、アクア色、アクアマリン色、ピンク色
顕教色（ハラン色）　ピンクローズ色
聖七文字　ヤー（Y）
元素　地（きよめられた地の元素のことを光と呼ぶ）
意識次元　鉱物体と植物魂（エーテル体）
系列　光
称号　復活の天使、創造の天使、音楽の天使
西欧名　ウリエル Uriel または、その音化した名アウリエル Auriel

別名　イスラフィエル Israfiel＊、セラフィエル Seraphiel

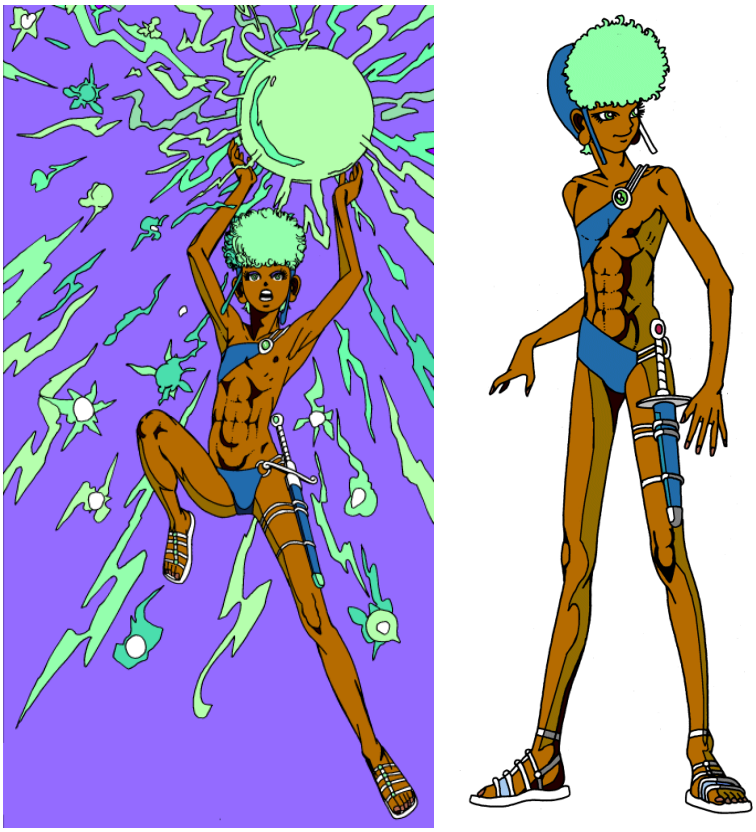
**＊イスラフィエル**　アラビア語のアッセラフィエル as-Serafiel がクルド風に音化してイッスラフィエル is-Srafiel となり、これが最終的にイスラーフィールという発音になった。

超古代名　ダヒベド Dahybed　中国語では、持光明使
グノーシス名　スプレンディテネンス Splenditenens
北斗七仏　薬師瑠璃光仏〔やくしるりこうぶつ〕
明王　無能勝明王〔むのうしょうみょうおう〕
七童子　電光童子〔でんこうどうじ〕、天開童子〔てんかいどうじ〕
タロット　XVII 星、0 愚者
位階　レオ（獅子面、笑者、勝者）　Leo
位階の守護者　ワユ、アフラマズダー（ジュピター）、ディオニュソス、老司祭
日本的なイメージ　龍神、雷神、文殊菩薩＊、除蓋障菩薩、大威徳明王＊、福禄寿＊

**＊文殊菩薩**　もんじゅぼさつ。釈迦の代弁者。普賢菩薩と一対で現われる。
**＊大威徳明王**　だいいとくみょうおう。文殊菩薩の化身。
**＊福禄寿**　ふくろくじゅ。長寿幸福、方位守護の神。七福神の一人。

北斗七仏　薬師瑠璃光仏〔やくしるりこうぶつ〕、天開仏
人物　鍼灸師、整体師、気功師、陰陽師、科学者、理学療法師、太陽天使
大師　伝説のマギ・シャムス、バーバク（バーバク教団の開祖）。サンジェルマン（鉄仮面）、ローゼンクロイツ。
教典　『黒の書』『ケファライア』『蘇魯支経』（ザラスシュトラの教え）、『約翰秘経』（ヨハネによる秘密の書）

聖画　イスラーフィール



聖画　イスラーフィール

聖画　イスラーフィール

聖画　イスラーフィール

聖画　イスラーフィール

# 第三部　七大天使と会う方法

## 六芒星と七芒星

六芒星と七芒星は、どちらも神と人を結ぶために使う秘儀の図形である。六芒星〔ろくぼうせい〕は、✡という形をしていて、中央に点が打ってある。七芒星の頂点の一つをとって、中央にもっていくと、六芒星になる。これは、七大天使の一人が中央に来て、神ミトラを宿して主になり、霊言・霊感を授けることを意味している。七名の大天使が代表する七つの力のうち、どれか一つが強調されることになる。七芒星の場合、円周上に七名の大天使が等間隔にならび、中央にあなたが立つかたちになる。あなたは七つの力すべてを均衡させ、完全に融合させることで、最高天＊にある光の広間に入ることができる。以下にそれぞれの使い方を簡単に記す。

**＊最高天**　天真、西天浄土、無量光浄土＊、真空家郷、無極、アラボット天などという呼び方がある。
**＊＊無量光浄土**　むりょうこうじょうど。中国語で「無限光の世界」の意。

### 召喚

天使などの高級神霊を呼び寄せて、自分の内に降ろすことを召喚〔しょうかん〕という。英語ではインヴォケーション Invocation という。

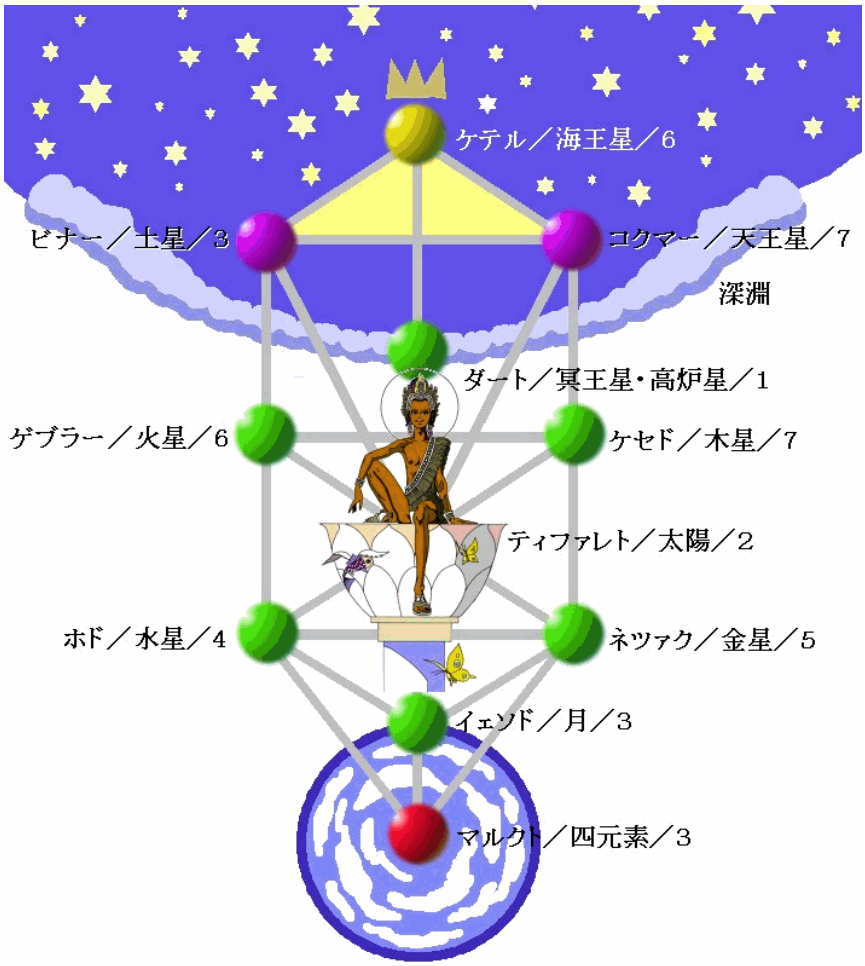
### 七芒星

自分が天界に昇っていって、光の広間で神に会う時に使う。神とはズルワーン、ソフィア、ミトラ、アザゼルの誰か、あるいは、全員の融合体イェッラーミールをさす。天真（無極）という東洋的な現われ方をする時もある。瞑想のテキストは『神の秘密』に掲載されている。七つの力すべてを自分の内に集めるので、六芒星より高級な儀式になる。

### 六芒星

自分の内に七大天使の一人を引き降ろして、その仲立ちで神ミトラと神人合一の境地＊に入る時に使う。巫女・シャーマンのような神懸かり的な状態に入って霊言・霊感をいただく。普通の人の場合には、巫女・シャーマンのような霊験はなく、もっとおだやかな瞑想になる。瞑想全体の枠組みについては、付録２を参照のこと。ミトラ教では《六芒星の秘儀》を《小さな顔の秘儀》と呼ぶこともある。

**＊神人合一の境地**　いわゆる憑依合体〔ひょういがったい〕のこと。単に憑依といった場合には、低級霊がとりつく場合もある。低級霊がとりつく危険性を排除して、七大天使と神ミトラを二段階で降ろして、水と甘美な美酒が溶け合うように合体するところに《ミトラの秘儀》の特徴がある。実際に、グラスに水を入れて、そこにお酒をそそいで溶け合っていくようすを観察するとよい。




聖画　天・七大天使（六芒星）・人の位置関係
――この三つの位置関係は《六芒星の秘儀》の前提になっている。

## 六芒星の秘儀

イメージの中でミトレーアムの光の広間に入る。
祭壇前の床に大きな六芒星が描いてある。
祭壇の中央にはミトラ像が安置されており、その手前に七つの枝の燭台がある。
七つの枝にはあかあかとロウソクが燃えている。
ミトラ像の足下には《黄金のフィアレ》が置いてある。
祭壇に向かって、おじぎをしてから、六芒星の中央に立つ。
祈祷句１（後述）をとなえて、七大天使に呼びかけ、その中の一人を自分の内に降ろす。
天使は頭頂部から入ってきて背骨にそってスッと入ってくる。腰と生殖器・肛門のああたりでしっかりと受けとめ、安定させる。ズンという衝撃を感じることもある。
（ふつうは呼びかけた天使が現れるが、呼びかけた天使ではなく別の天使が現れることもある。この場合は、現われた天使を受け入れる。）
降りてきた天使の感触をたしかめる。
つぎに、祈祷句２（後述）でミトラに呼びかけ、天使の内に転生してもらう。
（天使の場合と同じく頭頂部から入ってくるが、さらに強烈で、天使＝自分が燃え上がるような感じがする。深い瞑想から目覚めるような感覚が走る。）

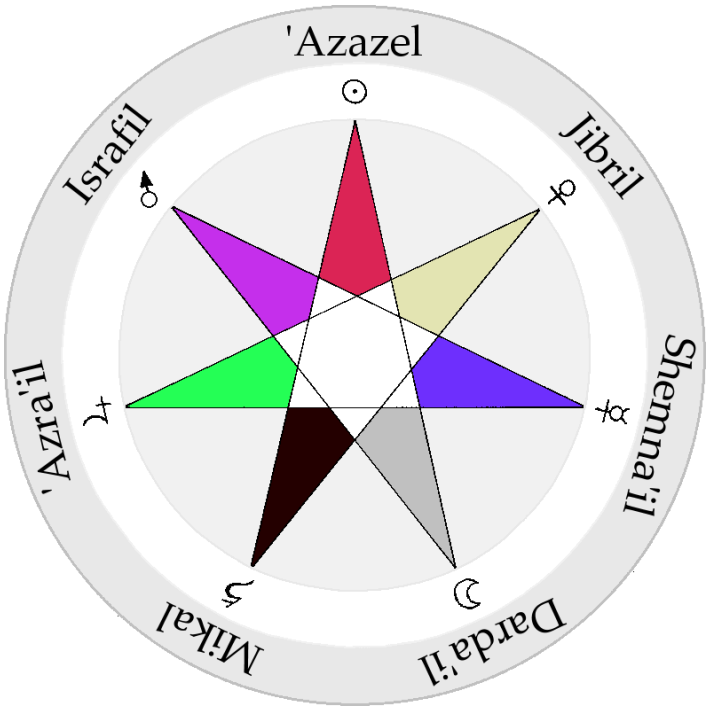
アザゼルの内にミトラが降りるなら、あなたはミトラ明王になる。
ジブリールの内にミトラが降りるなら、あなたはミトラ観音になる。
シェムナーイルの内にミトラが降りるなら、あなたはミトラ夜叉王になる。
ダルダーイルの内にミトラが降りるなら、あなたはミトラ地蔵になる。
ミカエルの内にミトラが降りるなら、あなたはミトラ神将になる。
アズラーイルの内にミトラが降りるなら、あなたはミトラ聖母になる。
イスラーフィールの内にミトラが降りるなら、あなたはミトラ龍神になる。

これがミトラの降臨〔こうりん〕＊、つまり、顕現〔けんげん〕＊である。
守護天使を媒介にして、あなたとミトラが神人合一の状態になっている。
ミトラと一体化したなら、感謝をし、願いごとを思い浮かべる。
（問いかけなくとも、神懸かり的な霊言・霊感を得ることもある。）
そのとき、何かが起きる。
瞑想の中でゆっくりと眼を開き、自分の手のひらを見る。
すると、そこに何かが現れる。
（何かが手の上に現れることが多いが、眼前に不思議な幻や光景を見ることもある。どこか見知らぬ場所に立っていることもある。）
その感触・印象をしっかりと確かめて覚えてから、神人合一の状態を解き、地上に帰る。
六芒星から出る。
祭壇に向かっておじぎをして、礼拝堂を出る。

**＊降臨**　こうりん。Theophany。神霊が物質世界に降りてきて、すがたを現すこと。
**＊顕現**　けんげん。Manifestation。眼に見えない神霊が人間や動物のすがたをとって現れること。「現れ」ともいう。

## 七芒星の秘儀

これについては、『神の秘密』（ミトラ教研究）を参照のこと。



聖画　七芒星

## ミトラや七大天使と一体になるときの感覚

水を入れたグラスに神という甘美な美酒が流れこんでいくような感覚を体験する。これを「汝と我、酒と水がひとつになるがごとく、溶け合っていく」という。つぎのことをしっかりと覚えて、鮮明なイメージをつくりあげておくとよい。実際に、グラスに酒をそそいでみるのもよい。

グラス……あなたの身体
グラスの中の水……あなたの魂（水は清らかで澄み切っている）
甘美な美酒……ミトラ、七大天使

## 祈りのことば

### 出典

ヤザタ派の『讃歌・祈祷句（ケウレ）』から訳出してある。ここでは、そのひとつだけを公開する。弥勒教の方法については、通信講座Ⅲとミレニアム講座での講義に譲り、ここでは割愛する。

### 使い方

六芒星および七芒星の秘儀で使う。

### 祈祷句1　大天使との合一　DH8, QTM1

大天使〇〇〇よ、
七芒星にかけたわが願いに応え、
わが身の内に降り来たれ。

### 祈祷句2　ミトラとの合一　QS14

静かに眠る夜にかけて、
明けはなつ朝の光にかけて、
大空と大地にかけて、
天の友ミトラよ、わが願いに応え、
わが身の内に降り来たれ。

### 祈祷句3　ミトラとの合一　QS15

七つの光、七つの星、七つの曜日、七つの秘儀にかけて、
天の友よ、
わが願いに応え、
わが身の内に宿りたまえ。

## ミトラの友への七つの教訓　――正律『修道の大訓』から

・アザゼルを受け入れて、奥義を悟れ。
・ジブリールを受け入れて、神と心を一つにせよ。
・シェムナーイルを受け入れて、神の懐刀〔ふところがたな〕になれ。
・ダルダーイル（ラファエル）を受け入れて、光と闇を統合し内的探求を完成させよ。
・ミカエルを受け入れて、社会正義に目覚め、神の盾となれ。
・アズラーイル（サマエル）を受け入れて、動機をきよめ、大悲・大慈に目覚めよ。
・イスラーフィール（ウリエル）を受け入れて、神ミトラのマギ・シャーマン・巫女となり、天の意志を実現せよ。

## 守護天使の見つけ方

・一念発起したり、一大決心をしたりするときには、アザゼルを守護天使にする。
・みんなから好かれ、かわいがられたいときには、ジブリールを守護天使にする。
・いじめに対抗するときには、シェムナーイルかミカエルを守護天使にする。
・内的な探求をするときには、ダルダーイルを守護天使にする。
・動機をきよめるときには、アズラーイルを守護天使にする。
・仕事や勉強の手順や段取りをよくしたいときには、イスラーフィールを守護天使にする。

以上は、あくまでも目安である。聖画や資料を参考にして、自分で決めるのがよい。守護天使を《六芒星の秘儀》で呼び降ろした時に、別の天使が現れる時がある。このような場合には、現れた天使が真の守護天使である。

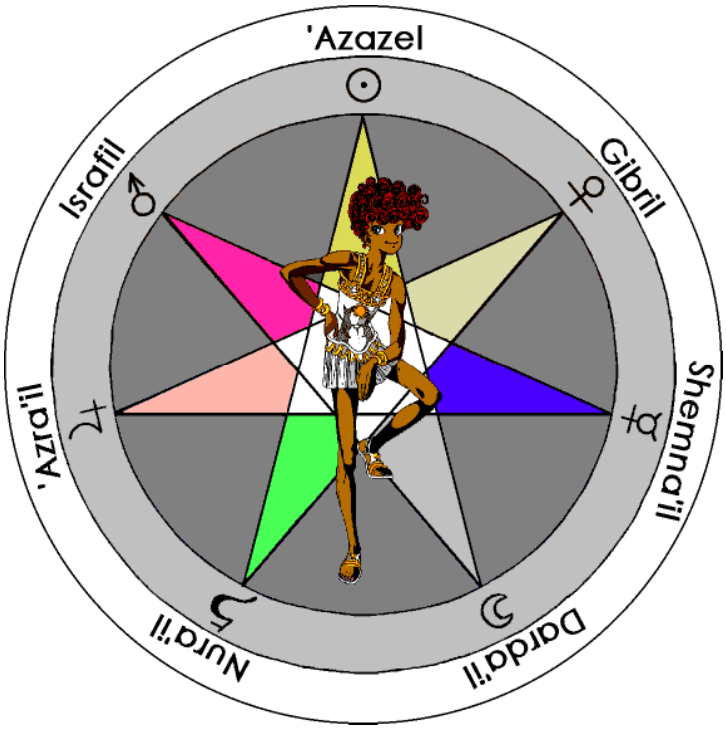
聖画　あなたに黄金のフィアレを手渡す少年神ミトラ

以　　上

## 付録1　七大天使のまとめ

表　七大天使

| 光線 | 聖七文字 | 天使 | 西欧名 | 元素 | 称号 | 系列 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | Q | アザゼル | サタナエル | 虚空 | 意志の天使(ジャッド) | 闇 |
| 2 | D | ジブリール | ガブリエル | 虚空 | 愛の天使(ファトフ) | 光 |
| 3 | R | シェムナーイル | シェミハザ | 虚空 | 能動知性の天使(ハヤール) | 闇 |
| 4 | K | ダルダーイル | ラファエル | 風 | 四大の天使(四天王) | 薄明 |
| 5 | W | ミカエル | ミカエル | 火 | 四大の天使(四天王) | 光 |
| 6 | N | アズラーイル | サマエル | 水 | 四大の天使(四天王) | 闇 |
| 7 | Y | イスラーフィール | ウリエル | 地 | 四大の天使(四天王) | 光 |




七芒星の護符

## 付録2　存在階層と意識次元の関係

中世イランの大神智学者スフラワルディー師が記した『デルヴィッシュ＊教科書』をもとに用語を整理した。ミトラ教の天使学においては、いわゆる三本の柱＊はさして重要でない。それより、天・七大天使・地という三つの関係の方が理論・実践の両面で重要である。次の図式、表、図を参考にして、三者の関係をしっかりと理解していただきたい。

| | ミトラ教 | 神智学 | 生命の木 | 小宇宙 |
|---|---|---|---|---|
| 天 | 神（天真） | 三重のロゴス | 至高の三角形 | 霊 |
| 天と地を結ぶ者 | 七大天使 | 七光線 | 小さな顔 | 魂 |
| 地 | 人（明性） | 分神霊（モナド） | 花嫁（マルクト） | 体 |

図式　三者の関係

**＊デルヴィッシュ**　Dervish。スーフィー教団に所属している修行者のこと。

**＊三本の柱**　右の柱（コクマー・ケセド・ネツァク）、中央の柱（ケテル・ダート・ティファレト・イェソド・マルクト）、左の柱（ビナー・ゲブラー・ホドの三つの柱のこと）。カバラでは中央の柱が左右の柱を均衡させると考える。

表　存在階層と神秘体（魂）

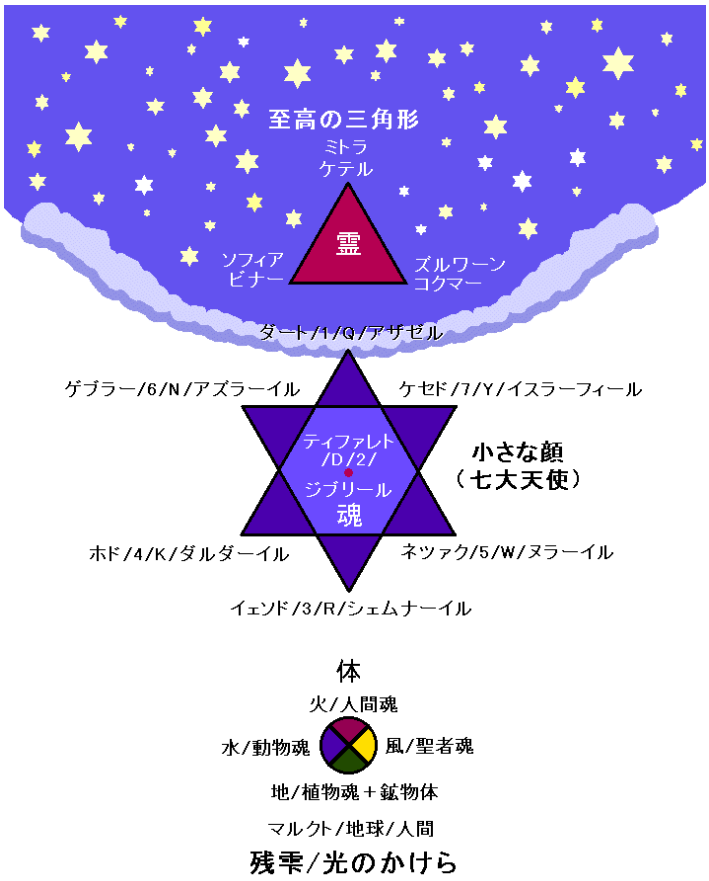
| 存在階層＊ | カバラにおける存在階層名 | 神智学における存在階層名 | 別名と意味 | 魂<br>意識次元 |
|---|---|---|---|---|
| ハーフート<br>（Hâhût）<br>（神界） | アインソフ<br>（無限） | アーディ界<br>（神界） | ・神の本性、つまり、シッル（秘密, Sirr）にふれる世界。<br>・絶対者界（アハディーヤ）＊1<br>・奥深い闇につつまれた玄＊2のまた玄の世界。 | 神 |
| ラーフート<br>（Lâhût）<br>（神的創造界） | アツィルト界<br>（流出界）<br>＝ケテル | アーカーシャ界<br>（モナド界） | ・神的創造性、つまり、神の霊（Rûh）に満ちた世界。<br>・統合的一者の世界（ワーヒディーヤ）。 | 世界教師 |
| ジャバルート<br>（Jabalût）<br>（元型界） | ブリアー界<br>（創造界）<br>＝コクマーとビナー | アイテール界<br>（アートマー界） | ・ナフス・ムトマインナ（平穏な魂）＊3<br>・霊的世界。マホメットの光に満ちた世界。 | 預言者魂 |
| マラクート<br>（Malakût）<br>（天使界） | イェッツィラー界<br>（形成界）<br>＝小さな顔<br>＝六芒星 | マナス界／風＋火 | ・ナフス・ラウワーマ（やたらに批判する魂）＊4<br>・元型世界。哲学的な想像力に満ちた世界。 | 哲学者魂 |
| ナースート<br>（Nâsût）<br>（人間界） | アッシャー界<br>（活動界）<br>＝花嫁（王国） | ブッディ界／風<br>メンタル界／火<br>アストラル界／水<br>エーテル界／地 | ・ナフス・アンマーラ（やたらに命令する魂）＊5<br>・本能が支配する世界。 | 聖者魂<br>人間魂<br>動植物魂<br>鉱物体 |

**＊存在階層**　ハーフート、ラーフート、ジャバルート、マラクート、ナースートはミトラ教・シーア派・陶酔型スーフィズムの専門用語。

**＊1絶対者界（アハディーヤ）**　Ahadiyah。アラビア語。黒田寿郎『イスラーム辞典』、東京堂出版、1983、p217-218。＊1から＊4はスンニー系神秘主義の用語。

＊2玄　げん, Xuan。中国語で「神秘」を意味する言葉。『老子道徳経』のキーワード。

＊3ナフス・ムトマインナ　Nafs Mutma'innnah。アラビア語で「平穏な魂」の意。預言者の魂は平穏な境地に達しているのでこのようにいう。『コーラン』89:27 を典拠としている。
＊4ナフス・ラウワーマ　Nafs Lawwâmah。アラビア語で「やたらに批判する魂」の意。『コーラン』75:2 を典拠とする。意識（哲学者魂）は本能的な欲求を批判するので、このように呼ぶ。
＊5ナフス・アンマーラ　Nafs Ammârah 。アラビア語で「やたらに命令する魂」の意。本能的な欲求のことを命令と呼ぶ。『コーラン』12:53 を典拠とする。




図《生命の木》の基本構造

参考

・井筒俊彦『超越のことば』、岩波書店、1991、p156-193
・ジンメル, アンヌマリー『イスラームの神秘的次元』、ノースカロライナ大学出版局、1975, p112, p270; Schimmel, Annemarie. *Mystical Dimensions of Islam*, The University of North Carolina Press, 1975, p112, p270
・バフティヤル, ラレ『スーフィー』、イメージの博物誌 16、平凡社、1982、p24; Bakhtiar, Laleh. *Sufi -Expression of the Mystic Quest*, Thames and Hudson Ltd., 1976
・黒田寿郎『イスラーム辞典』、東京堂出版、1983

以　　上